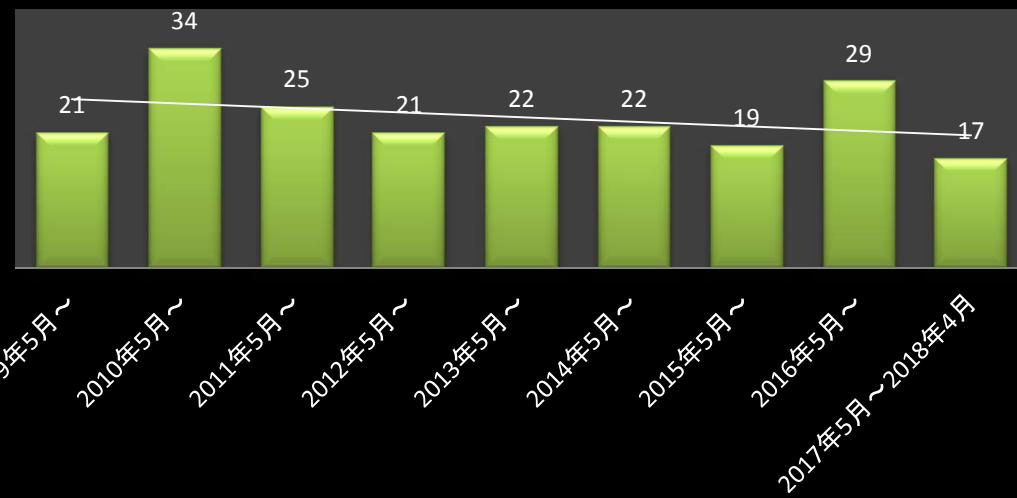


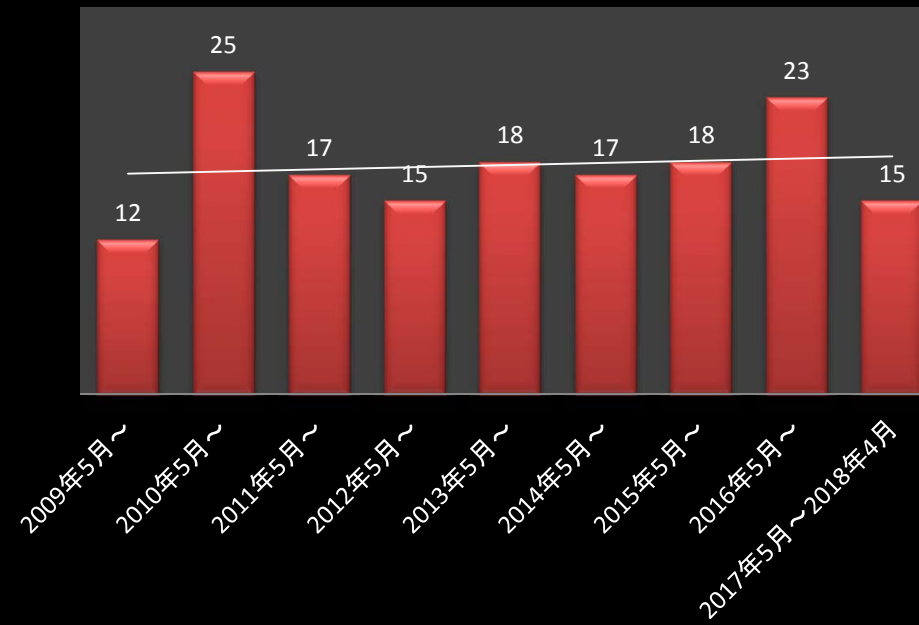
年度	タクシー	トラック	バス	総計
2009年5月～	9	12		21
2010年5月～	6	25	3	34
2011年5月～	6	17	2	25
2012年5月～	6	15		21
2013年5月～	4	18		22
2014年5月～	4	17	1	22
2015年5月～	1	18		19
2016年5月～	4	23	2	29
2017年5月～2018年4月	2	15		17

プロドライバー 酒気帯び報告

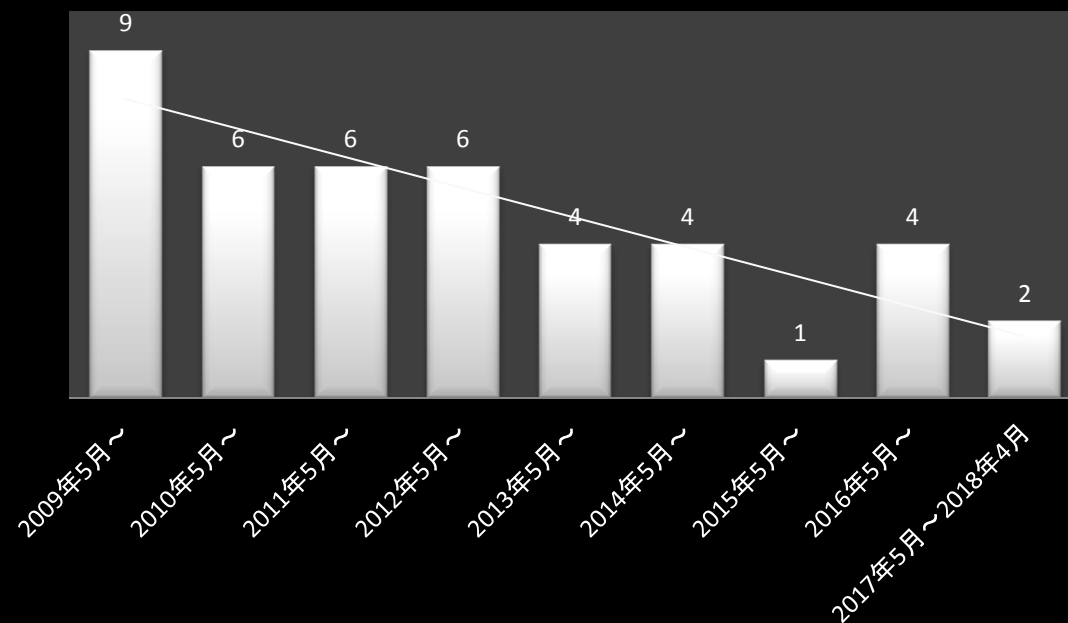
(国土交通省自動車局メールマガジン 事業用自動車安全通信
2009年5月1日～2018年4月30日)



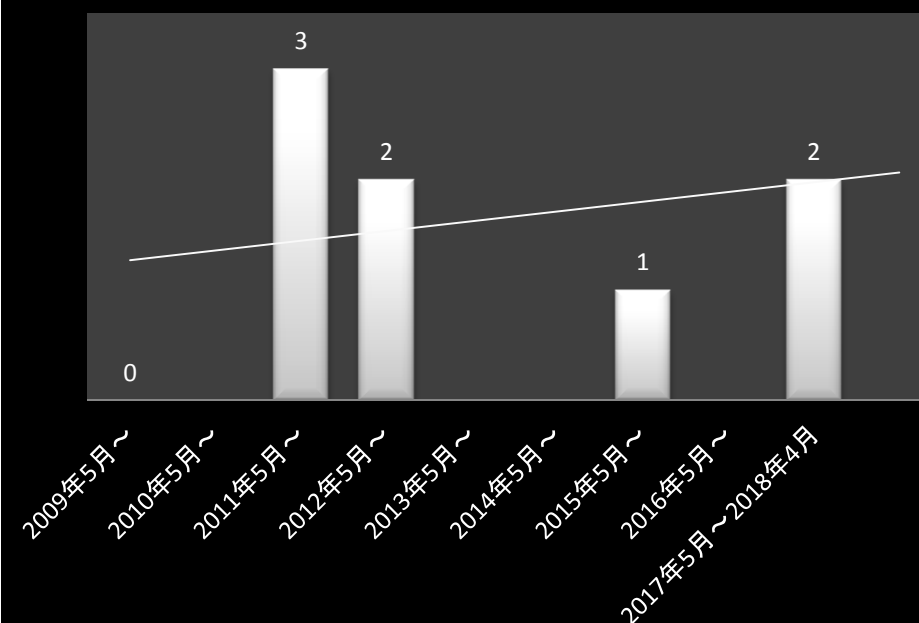
トラック



タクシー



バス



「事業用自動車安全通信」	発生(5月起算)	義務化前	内容	点呼実施
第4号(H21. 6. 26)	2009年5月～	義務化前	6月24日午前0時頃、兵庫県でタクシーが空車で走行中、中央分離帯に衝突し停車した。なお、この事故によるケガ人はなかったが、パトロール中の警察がこの事故を発見し、当該運転者を調べていたところ、呼気1リットル当たり0.53ミリグラムのアルコール分が検出されたため、当該運転者は酒気帯びの疑いで現行犯逮捕されたもの。報道によると、当該運転者は、前日の昼頃から自宅で缶ビール(500ミリリットル)2本とカップ酒1本を飲んで出勤し、午後4時頃から午後11時頃まで、神戸市内などで計6人のお客を乗せた後、同市内の営業所に戻る途中、当該事故を起こしたとされており、現在、事故の原因等詳細について、警察が更に調べを進めている。	不明
第4号(H21. 6. 26)	2009年5月～	義務化前	6月24日午前5時40分頃、京都府でトラックが信号待ちをしていた軽乗用車に追突し、更に衝突の弾みで前方車両が次々に衝突し、計6台が関係する事故となった。この事故で、軽乗用車運転者が重傷を負い、ほか3名が軽傷を負った。事故後、当該運転者を調べていたところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコール分が検出されたため、当該運転者は、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、昨日、逮捕されたもの。報道によると、当該運転者は、「前夜、発泡酒と焼酎、ウイスキーをそれぞれ数杯ずつ飲んで寝た。」と供述している模様で、現在、事故の原因等詳細について、警察が更に調べを進めている。→その後の調査によれば、事業者は、24時間対面による点呼を実施する体制を取っておらず、午前6時から対面による点呼を実施していた。また、アルコールチェックを導入していたが、事故当日の午前4時半頃、電話による点呼を実施し出庫していたことから、アルコールチェックを	無点呼
第5号(H21. 7. 3)	2009年5月～	義務化前	6月28日午前0時55分頃、茨城県でトラックが交差点にて信号待ちをしていた軽乗用車に追突し、更に衝突の弾みで軽乗用車が前方の乗用車に追突する玉突き事故となった。この事故で、軽乗用車運転者が重傷、乗用車運転者も軽傷を負った。当該トラック運転者は、事故後、負傷者の救護措置をすることなく現場から立ち去り、約6時間後、警察に出頭し、自動車運転過失傷害と道交法違反(救護義務)の疑いで逮捕されたもの。なお、取り調べにおいて、当該トラック運転者は、「飲酒運転をしていたので怖くなって逃げた。」と供述している模様で、飲酒の有無については事故発生より約6時間が経過していることから、現在、警察が更に調べを進めている。	不明
第8号(H21. 7. 24)	2009年5月～	義務化前	7月18日(土)16時頃、新潟県で乗客1名を乗せたタクシーが右折しようとしたところ、対向直進してきた二輪車と衝突した。この事故により、二輪車の運転者1名が軽傷を負った。乗客にけがはなかった。その後、タクシー運転者から呼気0.5mg以上のアルコールが検出され、現行犯逮捕されたもの。その後、警察は、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕し、その後の調べにより、道路交通法違反(救護義務違反)も判明した。10月5日に新潟地方裁判所において判決公判がおり、運転者は、懲役1年6月、執行猶予4年(求刑・懲役1年6月)が言い渡された。→特別監査を実施したところ、乗務員の健康状態の把握不適切、点呼の記録事項の不備、乗務員台帳の未作成・記載事項不備、運転者に対する指導及び監督不適切、適性診断(初任、高齢)の未受診の法令違反が確認され、同違反に対して115日車の行政処分を行った。	不明
第8号(H21. 7. 24)	2009年5月～	義務化前	7月21日午後4時15分頃、長野県で大型トレーラが左カーブを走行中、対向車線にはみ出し軽ワンボックスと衝突した。この事故で、軽ワンボックス運転者が軽傷を負った。当該大型トレーラ運転者は、事故後、負傷者の救護措置をすることなく現場から逃走し、同日、午後5時30分頃、同県内の市道において、捜査中の警察官に職務質問をされたところ、当該大型トレーラ運転者から呼気1リットル当たり0.3ミリグラムのアルコールが検出され、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、現行犯逮捕されたもの。事故の原因等詳細について、警察が更に調べを進めている。→その後、当該運転者は、懲役1年6月執行猶予4年の判決(9月30日)を受けた。→特別監査を実施し、運転者に対して点呼が確実に実施されていなかったこと、運転者に対する点呼の記録が確実に記録されていなかったこと、事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守	無点呼
第17号(H21. 9. 25)	2009年5月～	義務化前	9月18日午後1時40分頃、兵庫県でタクシーが走行中、道路工事のため対向車線にはみ出したところ、対向してきた自動車と衝突した。この事故により、タクシーの乗客2名と対向車の乗員3名の計5名が軽傷を負った。なお、タクシー運転者は昼食時に飲酒をしており、事故後、タクシー運転者から呼気1リットル当たり0.15ミリグラムのアルコールが検出、道路交通法(酒気帯び運転)違反の疑いで逮捕された。	不明
第18号(H21. 10. 2)	2009年5月～	義務化前	9月25日午前3時頃、タクシー運転者は、京都府の京滋バイパス下り線の巨椋インターチェンジから宇治トンネル付近間の約6キロを逆走し、Uターンした。その後、目撃情報をもとに警察が、同社内にて当該タクシー運転者を見つけ、呼気0.15ミリグラム以上のアルコールが検出され、道路交通法(酒気帯び運転)の疑いで逮捕、現在、拘留中。当該運転者は「草津市で客を降ろして帰社する途中に車内で缶ビールと日本酒を飲んだ」と供述しているとのこと。	不明
第19号(H21. 10. 9)	2009年5月～	義務化前	当該タクシー会社の運転者Aは、10月2日に点呼を受け出庫後、同日午後11時頃に同会社の別の運転者Bと無断で乗務を交替し、交替した運転者Bが当該タクシーを乗務していたところ、10月3日午前2時10分頃、愛媛県で交差点にて停車していた個人タクシーに追突し、その後後退し、後続の軽自動車に衝突した。この事故によるケガ人はなかったが、その後の警察の調べにより、当該タクシー運転者Bの呼気よりアルコールが検出され、当該タクシー運転者Bは道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕されたもの。なお、当該タクシー会社は、勤務途中において同社の運転者同士が無断で乗務を交替していることについては、把握していなかったとのことである。	無点呼
第23号(H21. 11. 6)	2009年5月～	義務化前	11月1日午後4時頃、熊本県で、トラックが軽自動車に追突事故を起こし、追突された軽自動車が弾みで前の普通車に追突した。この事故で軽自動車及び普通車の運転者が軽傷を負った。トラック運転者からは、呼気1リットルから0.74ミリグラムのアルコールが検出され、酒気帯び運転の疑いで逮捕された。トラック運転者は休みであったが、翌日の仕事に使うため、事業用自動車を自宅に持ち帰り、私用で用いていた。トラック運転者は、「事故前日の夜から事故当日の朝方までの間に350ミリリットルの缶ビールを10本以上飲み、事故当日の午前9時から350ミリリットルの缶ビール2本飲んだ」と話している。	無点呼
第24号(H21. 11. 13)	2009年5月～	義務化前	11月9日午後6時頃、茨城県で、タクシーが業務終了前に夕食と焼酎を購入し、営業所に戻る途中で運転者が飲酒を行い、赤信号で停車中の乗用車に追突した。タクシーに乗客は乗せておらず、この事故による、けが人は無かった。当該運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第25号(H21. 11. 20)	2009年5月～	義務化前	11月15日午前11時20分頃、栃木県で、信号により停車中の乗用車に大型トラックが追突してさらに追突された乗用車が押し出されて前方の車両に衝突するなどにより、計4台の関係する玉突き事故となり、10名が軽傷を負った。警察は、追突したトラック運転者を酒気帯び運転で現行犯逮捕した。	不明
第27号(H21. 12. 4)	2009年5月～	義務化前	11月28日午前2時40分頃、群馬県で、トラック運転者が酒気帯び運転により別の大型トラックに衝突した。警察は、当該運転者から呼気1リットル当たり0.6mgのアルコールが検出され、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕した。この事故によるけが人はなかった。→当該事故惹起運転者の所属営業所に対し特別監査を実施したところ、点呼の実施、過労防止措置違反、定期点検未実施、指導監督不適切が確認され、165日車の車両停止処分を行った。	無点呼
第28号(H21. 12. 11)	2009年5月～	義務化前	12月7日午前2時25分頃、静岡県の実名高速道で、トラックが走行中、自衛隊車両に追突した。この事故で、自衛隊車両に乗っていた2名のうち、1名が顔に軽傷、1名が鎖骨及び指を骨折の重傷を負った。警察は、事故の取り調べにおいて、当該トラック運転者からアルコールが検出されたため、当該トラック運転者の身柄を拘束した。運送事業者に対して監査を実施したところ、運行の安全を確保するために必要な過労防止措置義務違反のほか、運転者の健康状態の把握違反、点呼の実施義務違反、点呼の記録義務違反、点呼の記録の保存義務違反、運行指示書の携行義務違反、運行指示書の記録の保存義務違反、運転者台帳の作成義務違反、運行管理者の研修受講義務違反等が確認されたため、255日車の車両使用停止処分を行った。	不明
第31号(H22. 1. 8)	2009年5月～	義務化前	1月4日午前7時頃、大分県で、タクシー運転者が駐車禁止の時間帯に車を道路脇に止めていたところを巡回中の警察官に注意された。その際、当該運転者から酒の臭いがし検査をしたところ、基準を超えるアルコールが検出されたため、酒気帯び運転の疑いでその場で逮捕された。事業者からの報告によると、当該運転者は会社でのアルコールの検知を受けず、運転者の点呼の前にタクシーに乗って出て行ったとのこと。	無点呼
第32号(H22. 1. 15)	2009年5月～	義務化前	1月6日午後7時15分頃、愛媛県で、空車のタクシーが、右折時に急停止した前方の車に追突した。対応した警察官がタクシー運転者からアルコールの臭いがするに気づいたため、アルコール検査をしたところ酒気帯びが判明した。この事故で追突された車の乗客2名が軽傷を負った。→その後の調査によると、運行前に運行管理者が運転者に対してアルコールチェックを使用した飲酒の有無を確認し飲酒をしていないことが確認されたが、午後3時頃、運転者は昼食のためにタクシーで一時的に自宅へ帰宅し、その時にお酒を飲んでいたとのこと。	点呼した

第33号(H22. 1. 22)	2009年5月～	義務化前	1月18日午後4時32分頃、岡山県の中国自動車道下り線で、トラックが中央分離帯ガードレールに衝突し、炎上した。事故後、警察が運転者の飲酒の有無について検査したところ、呼気1リットル中0.2ミリグラムアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで運転者を現行犯逮捕した。この事故により、当該トラックが全焼したが、けが人はなし。→その後の調査によると、当該車両には、事業者が後付けのアルコールインターロックを取付けていたが、当該運転者は、事業者に無断でアルコールインターロック装置の配線を取り外していたとのこと。運送事業者に対して監査を実施したところ、運送事業者が事業用自動車の運転者に対して運行の安全及び旅客の安全を確保するために必要な運行に関する技能及び知識を習得させる等の指導監督義務違反のほか、過労防止措置義務違反、点呼の実施義務違反、点呼の記録義務違反、点呼の記録義務違反、乗務等の記録義務違反	不明
第33号(H22. 1. 22)	2009年5月～	義務化前	1月21日午後0時30分頃、石川県で、トラックが信号待ちで停車中の2台の軽自動車に追突した。事故処理のため到着した警察官の調べにより、当該トラック運転者からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。この事故によるケガ人は軽自動車の乗員3名が22日病院に行く予定であるがケガの状況は軽い模様である。トラック運転者は事故当日の朝まで飲酒しており、運行管理者は運行前の点呼時にアルコールチェッカーを使用せずに運転者の顔色でアルコールの飲酒の有無を確認していたとのこと。	点呼実施
第38号(H22. 2. 26)	2009年5月～	義務化前	2月22日午前0時10分頃、富山県で、大型トラックが右からきた乗用車と出会い頭に衝突した。この事故によるけが人はいない。駆けつけた警察の飲酒検知で規定量を超えるアルコール(呼気1リットル当たり0.15mg以上)が検出されたため、当該トラック運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)で現行犯逮捕された。	不明
第40号(H22. 3. 12)	2009年5月～	義務化前	3月9日午後4時40分頃、栃木県で、トラックが信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。事故後の警察の調べにおいて、当該トラック運転者から呼気1リットル当たり0.35mgのアルコールが検出され、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第41号(H22. 3. 19)	2009年5月～	義務化前	3月17日午後12時30分頃、広島県で、大型トラックが追い越し車線を走行中、走行車線を走行していた軽自動車と接触事故を起こし、そのまま走り去った。その後の警察の捜査で、当該大型トラックを発見し、当該トラック運転者の呼気から0.45mg/Lのアルコールが検出されたため、当該トラック運転者を酒気帯び運転の疑いで逮捕した。この事故によるけが人はなかった。事業者は、対面点呼において、運転者の酒気帯びの有無の確認をアルコールチェッカーにより行っていたが、当該飲酒事故は、当該トラック運転者が乗務を開始した後、休憩時にコンビニエンスストアで焼酎を購入して飲酒し、その約1時間半後に発生したものであることがわかった。	点呼した
第43号(H22. 4. 2)	2009年5月～	義務化前	3月23日午後4時頃、東京都で、タクシー運転者は車線変更の交通違反で取り締まりをしようとした警察官を突き飛ばし、体当たりなどしたため、警察官が取り押さえたところ、運転者が酒臭かったため飲酒の検査を行うと、呼気1リットル中0.39ミリグラムのアルコールが検出された。当該運転者は公務執行妨害と酒気帯び運転の疑いで逮捕された。車の助手席の下からは2リットル入りの焼酎のバックがカラの状態で見つかった。逮捕当時、タクシーには女性客を乗せていた。当該運転者は、取り調べに対し、「昼ごろから焼酎を2合飲んだ。」と容疑を認めているとのこと。	不明
第50号(H22. 5. 28)	2010年5月～	義務化前	5月20日午後9時頃、福岡県において、大型トレーラーが一方通行を逆走し、壁や電柱に衝突した。駆けつけた警察官が、当該トレーラーの運転者を調べたところ、酒の臭いがし、また、足がふらついていたので、酒酔い運転で現行犯逮捕した。報道によると、当該トレーラーの運転者の呼気から、基準値の3倍を超える呼気1リットル当たり0.5ミリグラムのアルコールが検出された模様。	不明
第56号(H22. 7. 9)	2010年5月～	義務化前	7月4日午後11時30分頃、山口県において、トラックが、信号待ちのため停車していた軽自動車に追突し、更に、前方の乗用車2台に衝突するという計4台が絡む玉突き事故が発生した。この事故による負傷者はなかった。事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、アルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第58号(H22. 7. 23)	2010年5月～	義務化前	7月13日午後11時30分頃、広島県において、タクシーが空車にて雨の中を走行していたところ、当該タクシーのタイヤがスリップしたことによりガードレールに衝突する自損事故を起こした。この事故による負傷者はなかった。事故後、警察が当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.20ミリグラムのアルコールが検出された。当該タクシーの運転者は、乗務中の同日午後10時頃、コンビニで500mlの缶酎ハイを購入して飲んだ後、3件の実車を行った模様。	不明
第57号(H22. 7. 16)	2010年5月～	義務化前	7月14日午後5時55分頃、栃木県の片側2車線の県道において、トラックが追越し車線を走行中、併走していた乗用車と接触した。事故後の警察の調べにおいて、当該トラックの運転者の呼気よりアルコールが検出され、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第58号(H22. 7. 23)	2010年5月～	義務化前	7月16日午後10時55分頃、群馬県において、トラックが、道路左側の民家のブロック塀に衝突した後、民家の納屋に突入した。この事故により、当該トラックの助手席に乗っていた同僚が全身を強く打つたことで病院に搬送されたが死亡した。事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコールが検出されたため、当該トラック運転者は、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。当該トラック運転者は、「酒を飲んで事故を起こしたことは間違いない。」と容疑を認めている模様。	不明
第58号(H22. 7. 23)	2010年5月～	義務化前	7月17日午前7時50頃、千葉県において、トラックが道路脇のフェンスに衝突した。この事故による負傷者はなかった。当該トラックは、この衝突事故の前に、乗用車と接触事故を起こし、当該乗用車に追われていた模様。また、当該トラックの運転者は、通報で駆けつけた警察官に対して、自ら飲酒運転であることを告げ、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。(アルコールの検出量は不明)さらに、当該トラックの運転者は、事業用自動車を自宅に持ち帰っており、事故は自宅から出発した後に発生した模様。	点呼無し
第60号(H22. 8. 6)	2010年5月～	義務化前	7月29日午前0時15分頃、栃木県の片側1車線の道路において、トラックが前方を走行していた乗用車を追い越そうとしたところ、当該乗用車に接触した。事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコールが検出されたため、当該トラック運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。当該トラックの運転者は、乗用車が右折しようとして中央車線側に寄ったため、当該乗用車を左側から追い越そうとしたところ接触した模様。	不明
第60号(H22. 8. 6)	2010年5月～	義務化前	8月2日午後8時25分頃、新潟県の交差点において、大型トラックが赤信号により停車中の軽トラックに追突し、更に追突された軽トラックが前方に停車していた乗用車に追突するなど、計4台が関係する玉突き事故が発生した。この事故で、軽トラックと乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後、警察が当該大型トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコールが検出されたため、当該大型トラックの運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第61号(H22. 8. 20)	2010年5月～	義務化前	8月13日午前4時55分頃、沖縄県において、タクシー運転者が、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。当該タクシーの運転者は、勤務中に知人と居酒屋で3～4時間飲酒をし、その知人を送るためタクシーを運転したところ、通報を受けた警察の取り調べを受けた。警察が、当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.25ミリグラム以上のアルコールが検出された。	不明
第61号(H22. 8. 20)	2010年5月～	義務化前	8月13日午後2時45分頃、神奈川県において、空車のタクシーが信号のない交差点を右折した際、対向してきた別のタクシーと衝突し、更に左側に路上駐車してあったオートバイ2台にも衝突した。この事故により、対向してきたタクシーの運転者が軽傷を負った。駆けつけた警察官の調べで、当該タクシーの運転者の呼気1リットル中から0.55ミリグラムのアルコールが検出されたため、当該タクシーの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)で現行犯逮捕された。	不明

第61号(H22. 8. 20)	2010年5月～	義務化前	8月13日午後2時25分頃、千葉県の変差点において、トラックが乗用車に追突した。事故後、当該トラックの運転者は逃走し、目撃者の証言等から捜査中の警察官により発見された。警察の取り調べにおいて、当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.85ミリグラムのアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は、道路交通法違反(酒酔い運転)の疑いで現行犯逮捕された。この事故により、追突された乗用車の運転者と同乗者が頸椎捻挫の軽傷を負った。	不明
第63号(H22. 9. 3)	2010年5月～	義務化前	8月29日午後10時30分頃、山形県の直線道路において、大型トラックが道路左側のガードレールを突き破り、3m下の道路外へ転落した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、規定以上のアルコールが検知されたため、当該トラックの運転者を道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕した。	不明
第66号(H22. 9. 24)	2010年5月～	義務化前	9月13日午後8時45分頃、東京都において、トラックがタクシーに追突した。この事故により、追突されたタクシーの運転者が軽傷を負った。当該トラックの運転者は、駆けつけた警察官に道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。事故当時、当該トラックの運転者は、業務終了後に一旦帰宅したが、自宅で飲酒後に営業所の車庫から当該車両を持ち出し運転していたとのこと。	点呼無し
第66号(H22. 9. 24)	2010年5月～	義務化前	9月15日午後9時40分頃、岩手県において、トラックが進行方向左側の水田に転落・転覆した。この事故による負傷者はなし。警察の取り調べにおいて、当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり約0.4ミリグラムのアルコールが検出された。事故当日、当該トラックの運転者は、午後0時から約3時間、自宅で焼酎約0.9リットルを飲酒し、酒気が抜けていない状態で午後8時30分頃営業所に出動した。当時、当該営業所には運行管理の補助者が配置されていたが、他の車両の整備のため不在であったことから、運行管理者に連絡して、本来対面すべき点呼を電話で済まして、午後9時5分頃出庫した。	点呼無し (電話で代替)

第66号(H22. 9. 24)	2010年5月～	義務化前	9月20日午前9時10分頃、大阪府において、トラックが信号待ちで停車中のワンボックスカーに追突し、そのはずみで当該ワンボックスカーが信号柱に衝突後横転した。この事故により、ワンボックスカーに乗車していた2名が軽傷を負った。事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、規定以上のアルコールが検知されたため、当該トラックの運転者は、自動車運転過失傷害及び道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。当該トラックの運転者は、「昨夜、家で飲んだ。」と供述している模様。	不明
第68号(H22. 10. 8)	2010年5月～	義務化前	10月2日午前9時30分頃、埼玉県の前1車線の市道において、トラックが信号待ちで停車中の自動車に追突した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、規定以上のアルコールが検知されたため、当該トラックの運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第70号(H22. 10. 22)	2010年5月～	義務化前	10月16日午前9時45分頃、沖縄県において、タクシーが空車にて走行中、二輪車と接触した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察が当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、基準値の約2倍のアルコールが検出されたため、当該タクシーの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の容疑で現行犯逮捕された。	不明
第71号(H22. 10. 29)	2010年5月～	義務化前	10月22日午後2時頃、熊本県において、大型トラックが渋滞で停止していた前方のトラックに追突した。当該事故による負傷者はなし。事故後の警察の取り調べにより、規定以上のアルコールが検知されたため、当該トラックの運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。事業者によると、事故当日、当該運転者は、運行途中にコンビニで弁当とビールを購入して飲食し、その後、事故を惹起した模様。	不明
第75号(H22. 11. 26)	2010年5月～	義務化前	11月7日、京都府において、貸切バスの運転者が点呼未実施の状態ですべて貸切バスに勤務していたため、この運転者が所属する営業所の運行管理者がこの運転者に対して改めて点呼を実施したところ、酒気帯びの有無の確認の際に用いたアルコール検知器により、当該運転者の呼気から0.14mg/リットルのアルコールが検知されたことが判明した。この乗務による事故はなし。当該運転者は、乗務前に出庫準備をしている際、忘れ物に気付いたため、運行管理者の指示により、忘れ物を取り自宅戻った後、他の運転者により出発地点まで運行した当該バスの乗務を開始した。当該運転者は、点呼未実施が判明するまでの間に、京都市内から西宮市内間の67.3キロメートルを走行した模様。	無点呼
第73号(H22. 11. 12)	2010年5月～	義務化前	11月9日、静岡県において、運行管理者補助者が、乗合バスの運転者の乗務前点呼時にアルコール検知器(呼気中のアルコール濃度が0.15mg/Lで反応するもの)で反応があったにもかかわらず、当該運転者に約8時間乗務させていたことが判明した。当該補助者から報告を受けた当該事業者の取締役は当該運転者の運転を中止させた。この乗務による事故等はなし。当該運行管理者補助者は、当該運転者に対しアルコール検知器を用いて3回の確認を実施したところ、いずれも反応したにもかかわらず、当該運転者が乗務する時刻が迫っていたため運転させた模様。	点呼した
第74号(H22. 11. 19)	2010年5月～	義務化前	11月10日午前7時15分頃、新潟県において、トラックが走行中、片側3車線のうち一番左の車線から2番目の車線に道路変更したところ、中央車線を走行していた車と接触した。この事故による負傷者はなし。事故後、事故処理のため到着した警察により、当該トラックの運転者の酒気帯び運転が発覚した。当該運転者は、前日の午後7時からの2時間で焼酎2合半を水割りで飲んだが、事故当日の乗務前点呼(アルコール検知器の設置なし)の際、所属営業所の運行管理者は、当該運転者が酒気を帯びていることに気付かなかった模様。	点呼した
第74号(H22. 11. 19)	2010年5月～	義務化前	11月16日午後12時頃、兵庫県において、トラックが走行中、縁石に乗り上げ走行不能となる自損事故を起こした。この事故による負傷者はなし。事故後、警察による現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.65ミリグラムのアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の容疑で現行犯逮捕された。	不明
第76号(H22. 12. 3)	2010年5月～	義務化前	11月26日午後11時50分頃、滋賀県において、トラックが、ガソリンスタンドから道路に右折で出ようとしたところ、左から来たワンボックス車と衝突した。この事故により、衝突したワンボックス車の運転者が軽傷を負った。当該トラックの運転者は、事故で駆けつけた警察官に道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。	不明
第77号(H22. 12. 10)	2010年5月～	義務化前	12月4日午前0時40分頃、沖縄県において、パトロール中の警察官が、テールランプが切れた状態で走行しているタクシーを発見したため、当該タクシーを停車させ、当該タクシーの運転者から話を聞いていたところ、当該タクシーの運転者から酒の臭いがしたことから、アルコール検知器を用いて飲酒の有無を確認したところ、当該運転者の呼気から基準値の3倍のアルコールが検知された。このため、当該タクシーの運転者は酒気帯び運転の疑いで逮捕された。当該乗務による事故はなし。なお、当該運転者は、前日(3日)の朝に乗務前点呼(アルコール検知器使用)を受けて出庫し、その日の昼頃、昼食のために自宅に戻った際にビール2缶を飲み、その後、午後8時頃まで仮眠をとってから乗務を再開した模様。	点呼した
第77号(H22. 12. 10)	2010年5月～	義務化前	12月7日午後4時頃、三重県において、トラックが走行中、信号待ちのため停車していた軽自動車に追突した。この事故による負傷者はなし。事故後、事故検分に当たった警察官により、当該トラックの運転者の飲酒が発覚した。なお、当該トラックの運転者は、営業所に帰る途中で着替え等を取り自宅に寄り、そこで食事をした際に飲酒した模様。	不明
第80号(H23. 1. 7)	2010年5月～	義務化前	12月28日午前7時15分頃、東京都において、営業所の運行管理者が、乗合バスの運転者に対し、乗務前点呼を実施した際、酒気帯びの有無を確認するために使用したアルコール検知器の結果を確認せずに点呼を終了し、当該運転者に乗務させていたことが判明した。この運行による事故はなし。当該運転者の出庫後に、当該運行管理者が、当該運転者のアルコール検知器による確認で、アルコールが検知されていたことに気付かず、当該運転者による運行を中止させるまでの間、当該運転者は運行経路を3往復半運行した。なお、当該事業者の点呼時における当該検知器を用いた酒気帯びの有無の確認については、運転者は当該検知器の数値を確認せず、点呼執行者(運行管理者)のみが当該検知器から打ち出されるシートの記載を確認することとしている模様。	点呼した
第84号(H23. 2. 4)	2010年5月～	義務化前	1月29日午後9時頃、広島県において、ふらつきながら走行しているトラックを発見したパトロール中の警察官が、当該トラックを停車させ、当該トラックの運転者に話を聞いた際、当該運転者から酒の臭いがしたため、当該警察官が当該運転者の呼気を確認したところ、基準値を超えるアルコールが検知されたため、当該運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。この乗務による事故及び負傷者はなし。当該運転者は、同日の午後4時頃、当日の乗務を終えたが、翌日の乗務が午前1時の出庫予定であったため、当該トラックに乗車したまま自宅へ帰宅し、午後5時頃、食事をした際に飲酒(焼酎のお湯割りを1杯)した。その後、雪が降り出したため、午後8時頃、予定よりも早く目的地へ向け出発したが、その際に乗務前の点呼は受けなかった模様。	点呼なし
第86号(H23. 2. 18)	2010年5月～	義務化前	2月10日午前0時45分頃、栃木県において、赤信号で停車していたトラックに大型トラックが追突した。この事故により、追突されたトラックの運転者が軽傷を負った。その後の警察の調べにおいて、追突したトラックの運転者から基準値を超えるアルコールが検知されたため、当該運転者は逮捕された。	不明
第86号(H23. 2. 18)	2010年5月～	義務化前	2月10日午後1時40分頃、広島県の交差点において、大型トラックが左折する際、隣車線を並走していた乗用車に接触した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察による現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の容疑で現行犯逮捕された。	不明
第87号(H23. 2. 25)	2010年5月～	義務化前	2月10日午前11時頃、兵庫県において、トラックが信号待ちで停車していた軽自動車に追突し、そのはずみで追突された軽自動車が前方に停車していたライトバンに追突した。この事故により、当該軽自動車の運転者が負傷した。警察が現場に到着した際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が飲酒の有無について検査したところ、呼気1リットル中、2ミリグラムのアルコールが検出された。なお、当該トラックの車体が傾いていたため、警察が車両を計量したところ、最大積載量の5割を超える過積載も判明した。	不明

第90号(H23. 3. 28)	2010年5月～	義務化前	3月20日午後4時15分頃、青森県の交差点において、トラックが赤信号で停車中、当該トラックの運転者が靴下を履くとしてブレーキから足を放したところ、当該トラックが前進し、前方にいた別のトラックに衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察が当該トラックの運転者に対して飲酒の有無について検査したところ、呼気1リットル中0.2ミリグラムのアルコールが検出された。当該運転者の乗務前の点呼時に、運行管理者は、当該トラックの運転者が飲酒していないことを確認したが、当該トラックの運転者は、乗務開始後、乗船予定の同日午後0時発のフェリーを待つ間に、コップ2杯程度のビールを飲んだ。なお、当該事故は、当該トラックが午後4時に下船した後、約15分後に発生した。	点呼した
第92号(H23. 4. 8)	2010年5月～	義務化前	4月4日午前4時55分頃、東京都の市場の構内において、トラックが左右の駐車車両の間をすり抜けようとしたところ、進行方向右前方に駐車していた車両に気をとられていたため、左側に駐車していた別の車両に接触した。この事故による負傷者はなし。警察の現場検証の際、接触したトラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が飲酒について検査したところ、呼気1リットル中0.33ミリグラムのアルコールが検出された。なお、当該トラックの運転者は、午前4時30分頃に所属営業所の庫車を出勤しているが、その際に本来対面するべき点呼を電話で行っていた模様。	対面を電話で代替
第93号(H23. 4. 15)	2010年5月～	義務化前	4月8日午後3時30分頃、沖縄県において、タクシーが蛇行運転をしているとの通報を受けた警察官が、当該タクシーの運転者に事情を聴いたところ、この運転者から酒の臭いがしたため、アルコール検知器を用いて検査したところ、この運転者の呼気から、基準値の約3倍のアルコールが検出された。このため、当該運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。なお、事業者によると、当該タクシーの運転者の乗務前点呼時に、アルコール検知器を使用して酒気帯びの有無を確認した際には酒気帯びはなかったが、当該タクシーの運転者は、出勤後の昼食時において飲酒した模様。	点呼した
第94号(H23. 4. 22)	2010年5月～	義務化前	4月13日午後11時30分頃、北海道の交差点において、トラックが右折しようとしたところ歩行者と接触した。この事故により、この歩行者が負傷した。警察の現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が飲酒について検査したところ、アルコールが検出されたため、この運転者は逮捕された。なお、当該運行における運転者の乗務前点呼は、午前10時に庫車を出勤する際に、対面ではなく電話で行われた模様。	対面を電話で代替
第97号(H23. 5. 20)	2011年5月～	義務化後	5月15日午前11時55分頃、福岡県において、大型トラックが道路左側の標識及びブロック塀に接触しながら走行し、電柱に衝突した。事故後、警察による現場検証で、当該トラックの運転者が酒気帯びていることが判明したため、当該トラックの運転者は酒気帯び運転の疑いで逮捕された。この事故による負傷者はなし。当該トラックの運転者は、5月10日に営業所を出発し、埼玉県、栃木県、広島県を経由し、15日に営業所に帰庫する予定であり、14日午後3時20分に実施した中間点呼の際、携帯型のアルコール検知器を用いた酒気帯びの確認では、異常なしとの報告であった模様。	実施していた
第98号(H23. 5. 27)	2011年5月～	義務化後	5月23日午後11時20分頃、三重県の高速道路(片側二車線)において、トラックがワンボックス車に追突した。この事故による負傷者はなし。事故後、駆けつけた警察が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、呼気中に基準値を超えるアルコールが検出されたため、当該トラック運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された。事故当時、現場は道路工事のため一車線に規制されていたため、渋滞しており、当該トラックもその渋滞の車列に並んでいた模様。	不明
第101号(H23. 6. 17)	2011年5月～	義務化後	6月4日午後6時15分頃、三重県の東名阪亀山料金所において、トラックが、当該料金所の直前で、一般レーンへの進入路からETCレーンの進入路に急遽移動しようとして急ハンドルをきったところ、レーンの間に設置してあった電光掲示板に接触したが、当該トラックは停車せずにそのまま走行を続けた。同日午後7時5分頃、当該トラックの運転者は、警察による当該接触事故に係る検問で事情聴取を受けた際に、酒気帯び状態であることが確認された。この事故による負傷者はなし。当該トラックの運転者は、同日午後1時頃、東名高速道路の日本平パーキングエリアで仮眠をとる際、事前に買いおきしていた日本酒1.5合を飲酒した模様。	不明
第101号(H23. 6. 17)	2011年5月～	義務化後	6月9日午後7時頃、埼玉県において、タクシーが運行中、交差点を通過後に左側路肩に乗り上げ街路樹に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察による現場検証の際、当該タクシーの運転者は酔酩状態であった。事故当日の乗務前点呼において、当該タクシーの運転者は、酒気を帯びているなどの異常は認められなかったが、乗務の途中でワインを飲んだ模様。	実施していた
第101号(H23. 6. 17)	2011年5月～	義務化後	6月11日午前10時10分頃、岩手県において、ダンパーが駐車中の軽自動車に接触してそのまま立ち去ったため、目撃していた当該軽自動車の運転者は警察に通報した。警察が当該ダンパーを発見し、当該ダンパーの運転者に対して事情聴取した際に酒気帯びの有無を確認したところ、呼気中に基準値を超えるアルコールが検出された。この事故による負傷者はなし。当該運転者は、同日午前2時頃まで飲酒していた。当該ダンパーを使用する運送事業者の代表者は、当該運転者に対して行った対面点呼の際に、アルコール検知器を使用した酒気帯びの有無の確認等を行っていなかった模様。なお、この代表者は運行管理者または運行管理の補助者に選任されていない模様。	実施していた
第102号(H23. 6. 24)	2011年5月～	義務化後	6月16日午後6時20分頃、大分県において、タクシーが乗客1名を乗せて運行中、前方を走行していた軽自動車と接触した。この事故による負傷者はなし。接触後、当該軽自動車の運転者とトラブルになったため、当該タクシーの運転者は警察に通報したが、事故現場に駆けつけた警察は、当該タクシーの運転者から酒の臭いがしたため、当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.35ミリグラムのアルコールが検出されたため、当該タクシーの運転者を道路交通法違反(酒気帯び運転)の容疑で現行犯逮捕した。	不明
第102号(H23. 6. 24)	2011年5月～	義務化後	6月18日午前5時30分頃、埼玉県において、トラックが走行中、信号待ちのために停車していたトレーラに追突した。この事故による負傷者はなし。事故後に実施された警察による現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、アルコール検知器を用いて酒気帯びの有無を確認したところ、当該トラックの運転者から、呼気1リットル中0.15ミリグラムのアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。当該トラックの運転者は、前日(17日)午後10時頃から2時間ほど自宅焼酎を数杯飲み、同日午前4時40分に営業所に出動した。その後、本来は運行管理者と対面で行うべき点呼を電話で済ませて出勤したが、その際にアルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認は行っていなかった模様。	無点呼
第104号(H23. 7. 8)	2011年5月～	義務化後	6月30日午前3時頃、山口県の高速道路の料金所出口において、大型トラックが当該料金所を通過しようとしたが、ゲートが開かなかったため後退したところ、ガードレールに接触する物損事故を起こした。この事故による負傷者はなし。その後、料金所の職員は警察に通報するとともに、当該トラックの運転者に対して警察官が到着するまで待機するよう伝え、事務所へ戻ったところ、当該トラックの運転者は再び高速道路に戻り逃走した。逃走中の午前3時40分頃、当該トラックの運転者は運行管理者へ電話をかけて現状説明したところ、当該運行管理者から直ちに運転をやめるように指示されたため、サービスエリアにおいて待機した。午前4時頃、当該サービスエリアへ到着した警察による酒気帯びの検査により、当該トラックの運転者の飲酒運転が確認された。当該トラックの運転者は、29日午後11時に運行管理者が行う点呼(アルコール検知器の使用含む)を受けた際、特に異常は認められなかった	実施していた

第107号(H23. 7. 29)	2011年5月～	義務化後	7月2日午前10時頃、乗合バスの営業所において、休憩のために営業所に戻った乗合バスの運転者に対し、当該営業所の運行管理者がアルコール検知器を使用し酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者から呼吸1リットルあたり0.48ミigramのアルコールが検出されたため、当該運行管理者は、当該運転者の乗務を停止させた。この乗務による事故はなし。当該乗合バスの運転者は、午前7時35分頃、所属営業所の車庫に出勤し、午前7時50分に所属営業所の運行管理者が行う点呼を受けたが、酒気帯びの有無を確認するために使用したアルコール検知器の測定結果を当該運行管理者に正しく報告せず、乗務を開始した模様。当該乗合バスの運転者は、営業所の運行管理者により乗務を停止されるまでの間、運行経路を一往復した。	実施していた
第107号(H23. 7. 29)	2011年5月～	義務化後	7月22日午前5時30分頃、福島県において、貸切バス2両が乗客を乗せるため同送運行中、所属営業所を出発し、約200メートル走行したところで、当該バス2両の運転者は酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された。この運行による事故はなし。当該バス2両の運転者は、前日の午後10時30分頃まで一緒に飲酒していた模様。なお、当該バス2両の運転者は、所属営業所の運行管理者が食事のため当該営業所を離れた間に、対面による点呼を受けずに出発した模様。	無点呼
第108号(H23. 8. 5)	2011年5月～	義務化後	7月26日午後9時10分頃、新潟県において、トラックが走行中、狭い道に迷い込んだため後退したところ、民家のブロック塀に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後、駆けつけた警察が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、呼気中に基準値を超えるアルコールが検出されたが、当該トラックの運転者は、同月28日に帰郷した際、所属する事業者に物損事故を起こしたことだけを報告し、その日に自主退職した。当該事業者は、8月3日、外部からの連絡により、当該トラックの運転者の酒気帯び運転の事実を知った模様。なお、当該トラックの運転者に対する、乗務前点呼の際に酒気帯びの有無を確認するために使用したアルコール検知器の結果では異状がなかった模様。	実施していた
第110号(H23. 8. 26)	2011年5月～	義務化後	8月19日午前9時頃、福岡県の高速道路において、大型トラックがふらついて走行していたため、通報を受けた警察は、走行中の当該トラックを停車させて、当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該トラックの運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出された。この事実による負傷者はなし。警察は、当該トラックの運転者を酒気帯び運転の疑いで逮捕した。当該運転者は、宿泊を含む運行計画で、所属する営業所を出勤する際、当該営業所の運行管理者が実施した点呼において、酒気帯びの有無を確認するために使用したアルコール検知器の測定結果に異状はなかったが、宿泊先における電話等による点呼は行っていなかった。なお、当該トラックの運転者は、警察に対して「日をまたぐ時間位まで日本酒を飲んだ」と話している模様。	無点呼
第110号(H23. 8. 26)	2011年5月～	義務化後	8月23日午後9時25分頃、静岡県において、大型トラックが走行中、ガードレールに接触する物損事故を起こした。この事故による負傷者はなし。事故後、警察による現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼吸1リットル当たり0.25ミigramのアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第111号(H23. 9. 2)	2011年5月～	義務化後	8月25日午後6時10分頃、東京都において、トラックが片側二車線の道路の左側の車線を走行中、当該道路の右側の車線を走行していた車両と接触した。警察の現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察は飲酒について検査したところ、呼吸1リットル中0.20ミigramのアルコールが検出された。この事故による負傷者はなし。当該トラックの運転者は、千葉県内で荷下ろしを終えた後、コンビニエンスストアで酒を購入し、酒を飲みながら運転し続けた模様。	不明
第114号(H23. 9. 30)	2011年5月～	義務化後	9月4日午前1時55分頃、兵庫県において、大型トラックが走行中、赤信号で停車していたワンボックスカーに追突したが、当該トラックの運転者は、事故後の措置を行わずに逃走した。通報を受けた警察は、逃走中の当該トラックを確認したため、停止を命じたところ、当該トラックは停止した。この事故により、当該ワンボックスカーの乗員7名が頸椎捻挫の軽傷を負った。警察による事情聴取の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼吸1リットル当たり0.40ミigramのアルコールが検出されたことから、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)及び当て逃げの容疑で現行犯逮捕された。なお、当該トラックの運転者は、9月3日22時40分に乗務前点呼を対面で行った際、酒気を帯びているなどの異常は認められなかったが、乗務の途中で酒類を購入し飲酒した模様。	実施していた
第115号(H23. 10. 7)	2011年5月～	義務化後	9月30日(金)午前1時頃、埼玉県において、茨城県に営業所を置くトラックが片側一車線の道路を走行中、道路工事中の男性に接触した。この事故により、当該男性が軽傷を負った。事故後、現場に駆けつけた警察官が当該トラックの運転者の呼気を測定したところ、呼吸1リットル当たり0.4ミigramのアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された。なお、当該トラックの運転者は、9月29日の午後1時に乗務を終了し、乗務後点呼を受けて帰宅、その後、同日午後7時30分に営業所に出動したが運行管理者が不在であったため、乗務前点呼を受けずに出勤した模様。	無点呼
第116号(H23. 10. 14)	2011年5月～	義務化後	10月9日(日)午前11時20分頃、福岡県のコンビニエンスストアの駐車場内において、同県に営業所を置くタクシーがバイクと接触した。事故後、当該事故の目撃者からの通報を受け、現場に駆けつけた警察官が当該タクシーの運転者から酒の臭いがすることから、当該タクシーの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、呼吸1リットル当たり0.45ミigramのアルコールが検出されたため、警察は、当該タクシーの運転者を酒気帯び運転の疑いで逮捕した。この事故による負傷者はなし。当該タクシーの運転者は、同日午前5時30分頃出勤し、5時46分頃に実施した乗務前点呼において、アルコール検知器には反応はなく、その他の異常もなかった模様。	実施していた
第116号(H23. 10. 14)	2011年5月～	義務化後	10月10日(月)午後10時30分頃、滋賀県の高速道路において、香川県に営業所を置く大型トラックが走行車線を走行中、前方の車両を追い越すため追い越し車線に車線変更しようとしたところ、後方から追い越し車線を走行してきた別のトラックと接触した。この事故による負傷者はなし。事故後、警察による現場検証の際、当該大型トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が当該大型トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼吸1リットル当たり0.48ミigramのアルコールが検出された。当該大型トラックの運転者は、当該大型トラックの鍵を常時所持しており、事故当日、所属営業所の運行管理者が行う点呼を受けることなく乗務を開始し、自宅より持ち出した缶ビールを途中のサービスエリアで飲酒した後、運転を継続した模様。	無点呼
第118号(H23. 10. 28)	2011年5月～	義務化後	10月24日(月)午後6時10分頃、福岡県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客を降ろした後、方向転換のため後退したところ、当該タクシーの後方で自転車を押していた歩行者と接触した。この事故により、当該歩行者が左足に軽傷を負った。事故後、警察による現場検証の際、当該タクシーの運転者から酒の臭いがしたため、警察が当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、呼吸1リットル当たり0.35ミigramのアルコールが検出されたため、警察は当該タクシーの運転者を道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕した。当該運転者は、同日午前6時30分に乗務前点呼を対面で行ったが、酒気を帯びているなどの異常は認められなかった模様。	実施していた
第119号(H23. 11. 4)	2011年5月～	義務化後	10月29日(土)午前11時頃、山梨県の駐車場内において、群馬県に営業所を置くトラックが駐車場の植え込みに衝突した。これを発見した駐車場利用者が当該トラック運転者に注意をしたところ、当該トラックの運転者は徒歩で現場から立ち去ろうとしたため、当該駐車場利用者が警察に通報した。警察の現場検証の際、当該トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が飲酒について検査したところ、規定以上のアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は逮捕された。この事故による負傷者はなし。当該事故の前日の午後8時47分に本社営業所において運行管理者による対面での乗務前点呼を実施した際、当該トラックの運転者は、酒気を帯びているなどの異常は認められなかった模様。	実施していた
第121号(H23. 11. 18)	2011年5月～	義務化後	11月14日(月)午後5時40分頃、大阪府において、同県に住所を置く個人タクシーが空車で走行中、自家用トラックと接触したが、そのまま走り去った。この事故による負傷者はなし。事故後、自家用トラックの運転者からの通報を受けた警察が、事故現場から約500メートル先で、ガードレールに衝突していた当該タクシーを発見した。事情聴取の際、当該タクシーの運転者から酒の臭いがしたことから、当該タクシーの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該タクシーの運転者の呼吸1リットル当たり0.8ミigramのアルコールが検出されたため、警察は当該タクシーの運転者を道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕した。なお、当該タクシーの運転者は、事故当日の朝から焼酎を五合程度飲んだ模様。	無点呼
第124号(H23. 12. 9)	2011年5月～	義務化後	12月4日(日)午前10時頃、三重県において、愛媛県に営業所を置くトラックが走行中、信号待ちで停車中のワゴン車に追突した。この事故による負傷者はなし。事故後、現場に駆けつけた警察官が当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、当該トラックの運転者から基準値を超えるアルコールが検出されたため、当該トラックの運転者は酒気帯び運転の疑いで逮捕された。	不明
第129号(H24. 1. 20)	2011年5月～	義務化後	1月11日(水)午後7時45分頃、千葉県において、都内に営業所を置くトラックが走行中、信号待ちで停車していた乗用車に追突した。その後、事故処理のために駆けつけた警察が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該トラックの運転者から基準値を超えるアルコールが検出されたため、警察は、当該トラックの運転者を酒気帯び運転の疑いで逮捕した。この事故により、当該乗用車の運転者が軽傷を負った。また、当該トラックの運行において、当該トラックの運転者に対する乗務前点呼は実施されていなかった模様。	無点呼
第131号(H24. 2. 3)	2011年5月～	義務化後	1月31日(火)午後7時15分頃、千葉県の駅のロータリーにおいて、同県に営業所を置く小型トラックが走行中、当該ロータリー内に停車していたタクシー2台と別のトラックの右側面に接触し、当該ロータリー出口付近の路側帯に乗り上げ、フェンスとガードレールに衝突して停車した。この事故により、2台のタクシーの運転者が軽傷を負った。警察の現場検証の際、当該小型トラックの運転者から酒の臭いがしたため、警察が飲酒について検査したところ、当該小型トラックの運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたため、当該小型トラックの運転者は酒気帯び運転の疑いで逮捕された。当該小型トラックの運転者は、自宅から営業所の車庫まで自家用車で出勤し、当該車庫で当該小型トラックに乗り換えて、所属営業所に向かう途中であり、乗務前点呼は実施してなかった模様。なお、事故当時、当該小型トラックの運転者は道に迷っていた模様。	無点呼

第137号(H24. 3.16)	2011年5月～	義務化後	3月11日(日)午前3時30分頃、東京都において、都内に営業所を置く個人タクシーが空車で走行中、中央分離帯に乗り上げ、ガードレールをなぎ倒し転覆した。事故後、現場に駆けつけた警察官が、当該タクシーの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該タクシーの運転者から呼気1リットル当たり0.25ミリigramのアルコールが検出された。この事故により、当該タクシーの運転者が軽傷を負った。なお、当該タクシーの運転者は、事故日前日(10日)の営業を終えた午後6時頃から、事故当日(11日)の午前3時頃まで仲間と飲酒をしており、当初はタクシーの車内で仮眠を取ろうとしたが、走行可能と判断し、自宅へ向けて走行した模様。	不明
第147号(H24. 6.1)	2012年5月～	義務化後	5月24日(木)午前2時30分頃、広島県において、愛知県に営業所を置く大型トラックが走行中、ガードレールに衝突した。この事故により、当該大型トラックの運転者が軽傷を負った。事故後、救急車で病院に搬送中の当該大型トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、当該大型トラックの運転者は酒気帯び運転の疑いで逮捕された。なお、当該トラックの運転者が、前日(23日)の午後7時頃に受けた乗務前点呼において使用したアルコール検知器の測定においては、アルコールは検出されなかった模様。	実施していた
第159号(H24. 8.24)	2012年5月～	義務化後	8月10日(金)7時30分頃、沖縄県において、同県に営業所を置くタクシーが走行中、後ろから軽自動車に追突された。警察が、事故現場の検証の際に、当該タクシーの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.38ミリigramのアルコールが検出されたため、警察は当該タクシーの運転者を道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。当該運転者は、乗務前点呼を実施していなかった。ただし、運転者自身が乗務前にアルコールチェックを行った際には、アルコールは検出されなかったとのこと。なお、当該運転者は、前日の午後10時頃までに泡盛の水割りや7～8杯飲んでいった模様。	無点呼
第159号(H24. 8.24)	2012年5月～	義務化後	8月22日(水)午後5時40分頃、茨城県において、同県に営業所を置くトラックが走行中、赤信号で停車していた乗用車に追突した。この事故によるけが人はいなかった。事故後、現場に駆けつけた警察官が当該トラックの呼気を確認したところ、基準値を超えるアルコールが検出されたことから、当該運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。当該運転者は警察の調べに対して「お酒を一切飲んでいない」、「事故直前に栄養ドリンクを飲んだ」と供述している模様。なお、当該運転者に対する乗務前点呼の際に使用したアルコール検知器の数値に異常はなかった模様。	実施していた

第160号(H24.8.31)	2012年5月～	義務化後	8月26日(日)午前9時30分頃、埼玉県において、千葉県に営業所を置くトラック①が走行中、赤信号のために停車していたトラック②に追突した。事故後、現場に駆けつけた警察官が、当該トラック①の運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたことから、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。この事故によるケガ人はなし。なお、当該運転者は、警察の取り調べに対し「荷物を運び終え、コンビニで酒を買って飲んだ」と供述している模様。また、事故当日、当該運転者に対する乗務前の点呼は、運行管理者が不在であったため実施されていなかった。	無点呼
第160号(H24.8.31)	2012年5月～	義務化後	8月27日(月)午後9時5分頃、熊本県において、宮崎県に営業所を置くトラックが車線変更した際に軽自動車と接触事故を起こした。事故後、現場に駆けつけた警察官が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたことから、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。この事故による負傷者はなし。当該運転者は、自宅で午後3時頃に焼酎をコップ2杯飲んだ後、午後4時頃、所属営業所にこれから出発する旨の電話連絡を行い、アルコールチェックも行わずに出発した模様。	無点呼
第161号(H24.9.7)	2012年5月～	義務化後	9月3日(月)午後8時頃、岡山県において、同県に営業所を置くトラックがコンビニエンスストアの駐車場において、駐車中の乗用車に接触した。事故後、当該トラックに接触された当該乗用車の運転者が当該トラックの運転者に停車を求めたが、当該トラックはそのままコンビニエンスストアの駐車場から走り去ったことから、当該乗用車の運転者が警察に通報した。通報を受けた警察が、当該トラックの運転者の身柄を拘束したところ、当該トラックの運転者から基準値を超えるアルコールが検知されたことから、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。この事故による負傷者はなし。なお、当該運転者が営業所出庫時に受けた乗務前点呼において、アルコール検知器の測定結果に異常はなかった模様。	実施していた
第169号(H24.11.2)	2012年5月～	義務化後	10月12日(金)午後7時頃、山形県において、長野県に営業所を置く中型トラックが走行中、信号のない丁字路を右折のため停車していた軽自動車に追突し、その後、当該中型トラックの運転者は逃走したが、間もなく警察に逮捕された。この事故により、当該軽自動車の運転者が軽傷を負った。事故当時、警察が運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたことから、当該運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。当該運転者は警察の取り調べに対し、「18時頃、新潟県村上市内のコンビニで日本酒を買って飲んだ」と供述している模様。	不明
第167号(H24.10.19)	2012年5月～	義務化後	10月15日(月)午後8時25分頃、栃木県において、三重県に営業所を置くトラックが走行中、何らかの原因で道路左側の縁石に乗り上げ横転し、そのままセンターラインをはみ出したところ、対向してきた乗用車と衝突した。この事故により、乗用車の運転者が死亡した。現場に駆けつけた警察官が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いでも調べを進めている模様。	不明
第167号(H24.10.19)	2012年5月～	義務化後	10月17日(水)午前4時30分頃、鹿児島県において、福岡県に営業所を置くトラックが物損事故を引き起こした。現場に駆けつけた警察官が当該トラックの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたため、当該運転者は、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された。当該運転者は、自宅で飲酒後出社し、営業所で点呼を行わず出庫した模様。事故当時、事故現場の国道は道路工事が行われており、当該トラックは付近に設置してある工事中の標示板に衝突した模様。	無点呼
第169号(H24.11.2)	2012年5月～	義務化後	10月26日(金)午前2時頃、青森県において、同県の個人タクシーが住宅の外壁に衝突した。この事故による負傷者はいない。事故当時、警察が当該個人タクシーの運転者の酒気帯びの有無を確認したところ、呼気から0.26mg/Lのアルコールが検出された。当該運転者は、10月25日午後11時頃業務を終え、自宅にて夕食を取った際に飲酒(焼酎を数杯)し、その後、自宅敷地内で車両の駐車位置を移動させる必要があったため、移動しようとしたところ急発進し、自宅敷地外へ出て道路向かい側の外壁に衝突した模様。	不明
第172号(H24.11.22)	2012年5月～	義務化後	11月19日(月)午前0時頃、東京都の高速道路において、新潟県に営業所を置く中型トラックが走行中、当該中型トラックの左側面が自家用マイクロバスの右側面に接触した。この事故による負傷者はいない。事故当時、当該自家用マイクロバスの運転者が警察に通報し、その際に当該中型トラックの運転者が酒臭いことを告げたため、駆けつけた警察が直ぐに酒気帯びの有無を確認したところ、当該運転者の呼気から、0.7mg/Lのアルコールが検出されたことから、当該運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された模様。当該中型トラックの運転者は18日午後5時50分頃、当該中型トラックの所属する営業所において、乗務前点呼を受けた際のアルコール検知器の測定では0.0mg/Lであり、アルコール検知器は当該中型トラックの運転者に携帯させていた。	実施していた
第180号(H25.1.18)	2012年5月～	義務化後	1月12日(土)午後10時頃、栃木県において、同県に営業所を置くトラック運転者が休憩場所を尋ねるため、警察署構内に入ったところ、構内の門扉に当該トラックを接触させた。警察官が事故現場に駆けつけたところ、当該トラック運転者から酒の臭いがしたため呼気を確認し、基準値を超えるアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。当該トラック運転者は、自宅へ持ち帰っていた当該トラックで点呼を受けずに出庫し、午後3時頃、埼玉県で積み込み完了の電話を営業所にしたところ、営業所へ戻るよう指示があったが戻らなかった模様。	無点呼
第183号(H25.2.8)	2012年5月～	義務化後	1月31日(木)午後5時40分頃、岐阜県において、同県の個人タクシーが当て逃げしたという通報を受け、警察が当該個人タクシーの運転者へ職務質問した際に、呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.15ミリグラム以上のアルコールが検知されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第183号(H25.2.8)	2012年5月～	義務化後	2月2日(土)午前10時25分頃、広島県において、大阪府に営業所を置くトラックが走行中、対向車線にはみ出し、対向車両のダンプのミラーに接触したが、そのまま走り去ったため、通報を受けた警察により、当該トラックが発見され職務質問にて、当該トラックの運転者の呼気を確認したところ、呼気1リットル当たり0.25ミリグラム以上のアルコールが検知されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。この事故による負傷者はいない。なお、事業者は当該運転者が1泊2日であったが、当該運転者にアルコール検知器を携帯させていなかった模様。	無点呼
第185号(H25.2.22)	2012年5月～	義務化後	2月14日(木)午後10時30分頃、福岡県において、同県に営業所を置く大型ダンプが走行中、乗用車と接触し、その後民家に衝突した。この事故により、当該乗用車の乗員2名が軽傷を負った。事故当時、当該ダンプと当該乗用車が接触し、当該ダンプはそのまま逃走、その後当該交差点から約100m離れた民家に衝突して停止した。事故現場に駆けつけた警察官により、当該ダンプの運転者から基準値の2倍以上のアルコール分が検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第185号(H25.2.22)	2012年5月～	義務化後	2月18日(月)午前11時30分頃、東京都において、乗合バスが停留所で客扱い中、当該乗合バスの後続のトラック①がバスを避けようとして第1車線から第2車線に車線変更したところ、第2車線を走行してきた、大阪府に営業所を置くトラック②がトラック①に衝突し、そのはずみでトラック①が乗合バスに衝突した。この事故による怪我人はなし。事故当時、現場に駆けつけた警察が呼気を確認したところ、基準値を超えるアルコール分が検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された。	不明
第186号(H25.3.1)	2012年5月～	義務化後	2月21日(木)午前10時頃、茨城県において、同県に営業所を置くタクシーが空車で走行中、乗用車と衝突した。この事故による、負傷者はいない。事故当時、当該乗用車が対向車線にはみ出し、当該タクシーと衝突したが、駆けつけた警察官が、当該タクシーの運転者から酒の臭いがしたため、呼気を確認したところ基準値を超えるアルコール分が検出されたため、酒気帯び運転が発覚した模様。なお、当該運転者は、点呼時にアルコールチェックを受けずに出庫した模様。	実施していた
第189号(H25.3.22)	2012年5月～	義務化後	3月15日(金)午後11時35分頃、埼玉県において、タクシーが知人1名を乗せて運行中、交差点先に駐車していた車両に酒気帯び運転で追突した。この事故により、当該駐車車両に乗車していた人が軽傷、当該タクシーの運転者と知人が重傷を負った。事故当時、当該タクシーの運転者は知人とスナックで飲酒後、知人を自宅へ送る途中で事故を引き起こした模様。	無点呼
第189号(H25.3.22)	2012年5月～	義務化後	3月18日(月)午前3時55分頃、東京都において、都内の個人タクシーが空車で走行中、道路右側のガードレールに衝突し横転した。この事故により、当該個人タクシーの運転者が軽傷を負った。事故当時、当該運転者は車内に閉じ込められた状態となり、レスキュー隊によって救助され、頭部を打っていたことから病院へ搬送されたが、救助時に酒の臭いがしたため、警察は運転者の回復を待って、飲酒の状況を事情聴取する予定。	不明

第193号(H25. 4. 19)	2012年5月～	義務化後	4月12日午後8時10分頃、静岡県において、大阪府に営業所を置くトラックが走行中、軽自動車に追突した。この事故により、当該軽自動車の運転者が死亡した。事故当時、当該軽自動車が単独事故により道路上で停止していたところ、当該トラックが追突した模様。なお、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転の疑い)で逮捕された。	不明
第195号(H25. 5. 2)	2012年5月～	義務化後	4月29日(月)午前2時頃、香川県において、同県に営業所を置くトラックが走行中、停車中のトラックに追突した。この事故により、追突されたトラックの運転者が軽傷を負った。事故後、警察が追突したトラックの運転者の呼気を確認したところ、基準値を超えるアルコール分が検出された模様。	不明
第203号(H25. 6. 28)	2013年5月～	義務化後	6月19日(水)午前6時20分頃、北海道において、道内に営業所を置くトラックが走行中、赤信号で停車中の乗用車に追突した。この事故により、当該乗用車の運転者が軽傷を負った。当該トラックの運転者は、事故処理中の警察官に道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された模様。	不明
第207号(H25. 7. 26)	2013年5月～	義務化後	7月23日(火)午後3時50分頃、福岡県において、京都府に営業所を置くトラックが店舗駐車場から出発して左折する際に、停車中のトラックに衝突した。この事故による負傷者はいない。事故当時、当該トラックの運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで警察に現行犯逮捕された模様。	不明
第210号(H25. 8. 16)	2013年5月～	義務化後	8月10日(土)午前7時35分頃、長崎県において、同県に営業所を置くトラックが走行中、運転席側のドアが開き、対向してきた車両の運転席窓ガラスに衝突し破損させたため、事故見分に来た警察官が当該トラックの運転者の呼気を確認したところアルコールが検知されたため、酒気帯び運転の疑いで逮捕された。この事故による負傷者はなし。事故当時、当該トラックのドアが開いた原因については、現在、調査中。	不明
第211号(H25. 8. 23)	2013年5月～	義務化後	8月19日(月)午後10時頃、静岡県において、同県に営業所を置くトラックが走行中、渋滞のため停止していた前方の乗用車に追突し、その弾みで当該乗用車が前方の乗用車に追突した。この事故により、当該乗用車2両の乗員のうち、それぞれ1名の計2名が軽傷を負った。当該トラックの運転者からは、呼気1リットル当たり0.15ミリリットルを超えるアルコールが検出され、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第215号(H25. 9. 20)	2013年5月～	義務化後	9月13日(金)午後9時30分頃、東京都において、都内に営業所を置く個人タクシーが走行中、四本の電柱に衝突しそのうち一本の電柱を押し倒した。この事故による負傷者はなし。事故当時、当該タクシーの運転者の呼気から1リットル当たり0.15ミリグラムアルコールが検知され、道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された模様。	不明
第216号(H25. 9. 27)	2013年5月～	義務化後	9月23日(月)午前10時35分頃、広島県において、東京都に営業所を置く大型トラックが走行中、軽乗用車と衝突した。この事故による負傷者はいない。事故当時、当該トラックは、当該軽自動車と衝突後、そのまま逃走し、警察が当該トラックを発見し、近くのパーキングエリアにおいてアルコールチェックをしたところ道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された模様。	不明
第220号(H25. 10. 25)	2013年5月～	義務化後	10月9日(水)午後6時20分頃、奈良県の西名阪自動車道のパーキングにおいて、愛知県に営業所を置く大型トレーラーが駐車しようとしたところ、近くに駐車していたトラックに衝突した。この事故による負傷者はいない。事故当時、当該トレーラーの運転者の酒気帯び状態をアルコール検知器にて確認したところ、呼気1リットル中0.38ミリグラムのアルコールが検知され、当該運転者は道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された模様。	不明
第220号(H25. 10. 25)	2013年5月～	義務化後	10月20日(日)午前4時55分頃、山口県において、岡山県に営業所を置くトラックが走行中、建物に衝突した。この事故により、当該トラックの運転者が足と頭に軽傷を負った。事故現場は、信号機のある三叉路を当該トラックが直進し衝突した模様で、事故当時、当該トラックの運転者の酒気帯び状態をアルコール検知器で確認したところ、呼気1リットル中0.15ミリグラム以上のアルコールが検知された模様。	不明
第222号(H25. 11. 8)	2013年5月～	義務化後	11月2日(土)午前1時25分頃、静岡県において、トラックが走行中、赤信号で停止している乗用車に追突、さらに前の軽自動車2台が巻き込まれ、計4台が絡む玉突き事故が発生した。この事故により、追突された3台の運転者及び乗員の計4名が軽傷を負った。事故当時、当該トラックの運転者から呼気1リットル当たり0.25ミリグラムのアルコールが検出された模様。	不明
第225号(H25. 11. 29)	2013年5月～	義務化後	11月22日(金)午前7時30分頃、大阪府において、府内に営業所を置くトラックが走行中、停車していたトラックに追突した。この事故により、追突されたトラックの運転者が腰骨を骨折する重傷を負った。追突したトラックの運転者は、事故の調査中に酒気帯び運転が判明した模様。	不明
第227号(H25. 12. 13)	2013年5月～	義務化後	12月2日(月)午後8時40分頃、奈良県において、埼玉県に営業所を置くトラックが電柱に衝突し、電柱を折損させる単独事故を起こした。この事故による負傷者はいない。事故当時、当該トラックの運転者は、運行中にコンビニで焼酎を飲んでおり、事故の調査中に酒気帯び運転が判明した模様。	不明

第229号(H25. 12. 27)	2013年5月～	義務化後	12月18日(水)午後10時50分頃、青森県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客1名を乗せて運行中、当該タクシーの運転者が酒気帯び状態で民家のフェンスに衝突した。この事故による負傷者はいない。事故直後、当該タクシーは逃走したが、民家の住人からの通報により営業所に戻ったところを警察官により呼気検査を実施、基準値を超えるアルコールが検出された模様。	不明
第229号(H25. 12. 27)	2013年5月～	義務化後	12月22日(日)午前8時30分頃、東京都において、都内に営業所を置くトラックが渋滞で停止していた軽自動車に追突し、その弾みでその前の乗用車及びタクシーに玉突き衝突した。この事故により10名が軽傷を負い、当該トラックの運転者は酒気帯びにて逮捕された模様。事故当時、当該トラックの運転者は前日、自宅外で酒を飲んでおり、事故当日、出庫する際に運行管理者による点呼は実施されず、アルコール検知を実施していなかった模様。	無点呼
第231号(H26. 1. 17)	2013年5月～	義務化後	1月14日(火)午前0時頃、岡山県において、同県に営業所を置く大型トラックが走行中、路肩に停車していた乗用車に衝突した。この事故により、当該乗用車の乗員が軽傷を負った。事故後、当該トラックの運転者から呼気1リットル当たり0.35ミリigramのアルコールが検知された模様。なお、当該トラックの運転者は、出庫時の対面点呼におけるアルコール検査では問題なかったが、営業所を出庫後に飲酒した模様。	実施していた
第234号(H26. 2. 7)	2013年5月～	義務化後	1月29日(水)午後7時30分頃、広島県の山陽自動車道において、福岡県に営業所を置くトラックが走行中、物損事故を起こし、その後、事故現場から約50キロメートル離れた地点を走行中のところを警察に発見され、当該トラックの運転者の呼気からアルコールが検知された模様。	不明
第235号(H26. 2. 14)	2013年5月～	義務化後	2月6日(木)午前0時50分頃、広島県において、山口県に営業所を置くトラックが軽自動車に追突した。この事故により、当該軽自動車の乗員2名が軽傷を負った。事故当時、当該トラックの運転者からアルコールが検出され、道路交通法違反(酒気帯び運転)で逮捕された模様。	不明
第236号(H26. 2. 21)	2013年5月～	義務化後	2月16日(日)午前8時40分頃、鹿児島県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客1名を乗せて運行中、軽乗用車と衝突した。この事故により、当該軽乗用車の乗員が首に痛みを訴えた模様。事故当時、当該タクシーの運転者は、乗客を病院に送る途中であったため、当該軽乗用車の乗員を乗せて病院へ向かい、その後事故現場へ戻ってきた際にアルコール検査をしたところ、アルコールが検出されたことから、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された模様。当該運転者は、前夜飲酒しており、当日の朝、運行管理者からの乗務前点呼(アルコールチェック)を受けずに出庫した模様。	無点呼
第237号(H26. 2. 28)	2013年5月～	義務化後	2月22日(土)午後9時30分頃、兵庫県の高速道路のサービスエリアにおいて、広島県に営業所を置くトラックが停車中の乗用車に接触をし、事故の現場検証時にアルコール検査を受けたところ、アルコールが検出された。この事故による、負傷者はいない。事故当時、当該トラックの運転者は、当該サービスエリア内で乗務終了後、休憩時間に食事をしている間に飲酒した模様。	不明
第239号(H26. 3. 14)	2013年5月～	義務化後	3月7日(金)午後3時35分頃、佐賀県において、広島県に営業所を置くトラックが踏切で一時的に停止していた乗用車に衝突し、衝突後そのまま逃走したが、当該乗用車の運転者が110番通報し、警察が駆けつけ確認したところ、当該トラック運転者からアルコールが検出された。この事故による負傷者はない。当該トラックは、踏切で乗用車に追突した後、交差点の角にあるオートバイ店の展示オートバイ2台に接触後、事故現場から約400m先の田んぼに転落して停車した模様。	不明
第243号(H26. 4. 11)	2013年5月～	義務化後	4月6日(日)午前1時頃 京都府において、奈良県に営業所を置くトラックが、反対車線に侵入して対向のトラックと正面衝突した。この事故により、対向のトラックの運転者が重傷を負い、当該トラックの運転者に怪我はなかった。事故後、当該トラックの運転者からアルコールが検知され、酒気帯び運転であった模様。	不明
第246号(H26. 5. 2)	2013年5月～	義務化後	4月29日(火)午前8時25分頃、北海道において、道内に営業所を置く個人タクシーが空車で走行中、乗客を降ろすために停車していた法人タクシーに追突した。この事故により、法人タクシーの乗客1名が軽傷を負った。事故処理の際に、当該個人タクシーの運転者から基準を超えるアルコールが検出されたため、酒気帯び運転の疑いで逮捕された模様。	不明
第246号(H26. 5. 2)	2013年5月～	義務化後	4月30日(水)午前9時15分頃、埼玉県の国道において、東京都に営業所を置く大型トラックが走行中、前方の乗用車に追突し、当該乗用車はさらに前方のタンクローリーに追突した。この事故により、当該乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後、当該大型トラックの運転者からアルコールが検知され、酒酔い運転の疑いで逮捕された模様。	不明
第248号(H26. 5. 16)	2014年5月～	義務化後	5月12日(月)午前6時40分頃、福岡県の高速道路のインターチェンジにおいて、同県に営業所を置くトレーラーが左カーブを曲がりきれずに道路右側のガードレールを突き抜け約10メートル下に転落した。事故後、トレーラーの運転手からアルコールが検知され、酒気帯び運転で逮捕された模様。	不明
第251号(H26. 6. 6)	2014年5月～	義務化後	6月2日(月)午前6時23分頃、鹿児島県の国道において、同県に営業所を置くトラックが走行中、前を走行する乗合バスを追い越すため車線変更した際に当該乗合バスと接触した。この事故による負傷者はいない。事故後、当該トラックの車内からアルコール飲料が見つかったため、警察がアルコール検査を行ったところ、運転者からアルコールが検知され逮捕された。なお、当該トラックの運転者は、乗務前の点呼を受けずに出庫した模様。	無点呼
第254号(H26. 6. 27)	2014年5月～	義務化後	6月23日(月)午前8時20分頃、広島県内の国道において、島根県に営業所を置くトラックが走行中、運転操作を誤り左路肩の電柱に衝突した。現場検証に訪れた警察官が当該トラックの運転者から酒の臭いがする事に気づき、飲酒検査を行ったところ、酒気を帯びていることが確認され、酒気帯び運転で逮捕された。	不明
第254号(H26. 6. 27)	2014年5月～	義務化後	6月25日(水)午前11時頃、北海道内の市道にて、道内に営業所を置く自家用有償旅客運送者の車両が、他の車両の後写鏡と接触し、そのまま現場を離れた。その後、乗客を乗せて運行中、警察に車両を止められ、酒気帯び運転で逮捕された。	不明
第255号(H26. 7. 4)	2014年5月～	義務化後	6月28日(土)午前0時30分ごろ、東京都内において、都内に営業所を置く個人タクシー(自家使用中であった模様)が中央分離帯に衝突した運転手は、午前0時過ぎに缶ビールと日本酒を飲酒した模様。この事故による負傷者はない。	不明

第258号 (H26. 7. 25)	2014年5月～	義務化後	7月21日(月)午後8時43分頃、岐阜県において、兵庫県に営業所を置くトラックが走行中にセンターラインを越えて、対向車線の車両と接触事故を起こし、その後民家の車庫に衝突した。この事故により、当該トラックの運転者と対向車線の運転者の2名が軽傷を負った。なお、民家の住人に負傷者はいない。当該事業者が警察から得た情報では、当該トラックの運転者は酒気帯び運転であったとのこと。	不明
第262号 (H26. 8. 22)	2014年5月～	義務化後	8月16日(土)午後10時30分頃、北海道の国道において、トラックと軽自動車が出会い頭で衝突する物損事故があった。事故処理時に警察官が事情聴取を行っている際に、当該運転者が酒臭い事に気づき、呼気を検査したところ、基準を上回るアルコールが検出されたもの。	不明
第263号 (H26. 8. 29)	2014年5月～	義務化後	8月26日(火)午前3時頃、千葉県内の市道において、東京都に営業所を置くトラックが左側歩道に乗り上げて植え込みに衝突した。事故処理時に警察官が事情聴取を行っている際に、当該運転者が酒臭い事に気づき、呼気を検査したところ、基準を上回るアルコールが検出されたもの。	不明
第271号 (H26. 10. 24)	2014年5月～	義務化後	10月19日(日)午後4時頃、岐阜県国道交差点付近において、大阪府に営業所を置くトラックが赤信号で停車中の軽自動車に追突した。この事故により軽自動車の乗員2名が軽傷を負った。現場検証時にトラックの運転者は酒気帯びであることが確認された。当該トラックの運転者は点呼を受けずに出発しており、どの時点で飲酒をしたのかは不明。	無点呼
第271号 (H26. 10. 24)	2014年5月～	義務化後	10月22日(水)午後12時ごろ、東京都において、都内に営業所を置くトラックが運行中、前方の車両に追突し、さらにその車両が前車に追突する3台が関係する玉突き事故が発生した。このとき当該トラック運転者は酒気を帯びており、酒気帯び運転で警察に逮捕された模様。なお、この事故による負傷者はない。	不明
第276号 (H26. 11. 28)	2014年5月～	義務化後	11月27日(木)午前7時40分頃、沖縄県の県道において、同県に営業所を置く法人タクシーが空車にて運行中、ガードレールに衝突する事故が発生した。事故処理時に警察官が当該運転者の酒臭い事に気づき、飲酒運転(飲酒か酒気帯びかは未確定)で検挙された。	不明
第277号 (H26. 12. 5)	2014年5月～	義務化後	11月30日(日)午前11時頃、新潟県において、大阪府に営業所を置くトラックが民家の車庫に衝突する事故が発生した。この事故でけが人はいなかったが、トラックを運転者から基準を超えるアルコールが検出され、駆けつけた警察官に酒気帯び運転の現行犯で逮捕された。	不明
第277号 (H26. 12. 5)	2014年5月～	義務化後	12月1日(月)午後6時30分頃、山形県のコンビニエンスストア駐車場において、山形県に営業所を置くトラックが駐車していた乗用車に接触事故を惹起した。トラックはそのまま走り去ったことから、コンビニエンスストアの店員が警察に通報し、通報を受けた警察官が運転者に事情聴取を行った際に、飲酒運転が発覚した。	不明
第279号 (H26. 12. 19)	2014年5月～	義務化後	12月13日(土)午前8時27分頃、岐阜県の国道において、同県に営業所を置くトラックが信号待ちで前方に停車していた乗用車に追突した。この事故により乗用車に乗車していた2名が軽傷を負ったトラック運転者は警察の聴取中に呼気からアルコール(酒気帯び)が検出された。事業者によると出庫点呼時は異常なしであったとのこと。	実施していた
第282号 (H27. 1. 16)	2014年5月～	義務化後	1月12日(月)午前6時45分頃、岩手県の町道で、青森県に営業所を置くトラックが方向転換していたところ、付近に駐車していた車両と衝突する事故が発生した。当該車両の運転者が警察へ通報し、駆けつけた警察官がトラック運転者のアルコール検査を行ったところ、アルコールが検出された。この事故による死傷者は発生していない。	不明
第284号 (H27. 1. 30)	2014年5月～	義務化後	1月24日(土)午前1時30分頃、兵庫県の国道において、同県に営業所を置く法人タクシーが乗客3名を乗せ運行中、信号待ちの乗用車に追突した。この事故により乗用車の乗員1名と、当該タクシーの乗客1名が病院で診察を受けた。この際、当該タクシー運転手は飲酒していた模様で、警察に拘留された。事業者によると、当該運転者は、乗務前の点呼でアルコール検知器により検査を行ったが、アルコールは検出されなかったとのこと。	実施していた
第284号 (H27. 1. 30)	2014年5月～	義務化後	1月28日(水)、大分県において、同県に営業所を置く乗合バスの酒気帯び運転が発覚した。当該乗務員が、遠隔地車庫から始業乗務時に所属営業所と電話による点呼時に携帯型アルコール検知器で検査を行い、乗務を開始したが、最初の乗務を終了後に所属営業所においてアルコール検知器による検査の際、酒気帯び(0.170mg/l)の反応がでた。事業者によると、当該乗務員は、運行前日は公休で午後6時頃から焼酎水割り酒を2合程度飲酒し、午後9時頃就寝したと話している模様。	実施していた
第285号 (H27. 2. 6)	2014年5月～	義務化後	2月4日(水)午後10時45分頃、岡山県の市道において、兵庫県に営業所を置くトラックが道路左側の民家のブロック塀に衝突した。この事故によるけが人はないが、トラック運転者は酒気帯び運転の容疑で逮捕された。	不明
第287号 (H27. 2. 20)	2014年5月～	義務化後	2月18日(水)午後8時55分頃、群馬県の高速度道路のトンネル内において、愛知県に営業所を置くトラックが側壁に衝突した。この事故による負傷者はなし。トラックの運転者は、酒気帯び運転により警察に現行犯逮捕された模様。この事故により、当該区間が約7時間通行止めとなった。	不明
第293号 (H27. 4. 3)	2014年5月～	義務化後	3月31日(火)午前9時頃、福岡県の私有地において、同県に営業所を置くトラックが駐車のため後退していたところ、同私有地から道路へ出るため後退していた乗用車と衝突した。この事故による負傷者はない。なお、トラックの運転者は事故処理中に、酒気帯び運転であったことが発覚した模様。	不明
第295号 (H27. 4. 17)	2014年5月～	義務化後	4月14日(火)午前11時45分頃、埼玉県内の市道において千葉に営業所を置くトラックが軽乗用車と接触事故を起こして逃した。その後、警察が発見された際当該トラック運転者呼気からアルコールが検出され、運転者は逮捕された模様。	不明

第296号(H27. 4. 24)	2014年5月～	義務化後	4月23日(木)午前6時25分頃、神奈川県国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、赤信号で停車していた乗用車に追突した。この事故により、乗用車に乗車していた3名が軽傷を負った。トラック運転者の呼気からアルコールが検出され、当該運転者は酒気帯び運転により逮捕された模様。	不明
第307号(H27. 7. 10)	2015年5月～	義務化後	7月4日(土)午前1時30分頃、佐賀県の国道において、福岡県に営業所を置くトラックが運行中、タクシーに追突した。この事故により、追突されたタクシーの運転者及び乗客1名並びにタクシーに玉突き衝突された軽乗用車の運転者の合計3名が軽傷を負った。事故は、トラックが交差点手前で減速したタクシーに気付くのが遅れ追突した模様。なお、当該トラックの運転者の呼気からアルコールが検出され、酒気帯び運転の現行犯で警察に逮捕された模様。	不明
第309号(H27. 7. 7)	2015年5月～	義務化後	7月19日(日)午前7時10分頃、滋賀県の県道において、福井県に営業所を置くセミトレーラが運行中、横断歩道の標識を倒す物損事故が発生した。この事故による負傷者はなし。警察によると、通報により車両を発見したが、運転者から基準値を超えるアルコールが検知されたため、逮捕された模様。	不明
第318号(H27. 9. 25)	2015年5月～	義務化後	9月23日(木)午前5時50分頃、千葉県市道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、道路脇に駐車していた乗用車に衝突した。この事故による負傷者はなし。トラックの運転者は、酒気帯び運転により警察に逮捕された模様。	不明
第322号(H27. 10. 23)	2015年5月～	義務化後	10月17日(土)午前6時55分頃、北海道の国道において、道内に営業所を置くトラックが運行中、乗用車と正面衝突した。この事故による負傷者はなし。事故は、トラックがカーブを走行中、曲がりきれずに大きく膨らみ、対向してきた乗用車と正面衝突した。トラックの運転者は、酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された模様。	不明
第322号(H27. 10. 23)	2015年5月～	義務化後	10月22日(木)午前8時41分頃、栃木県の国道交差点において、宮城県に営業所を置くトラックが運行中、乗用車に追突した。この事故による負傷者はなし。事故は、トラックが青信号により発進したところ、前方の乗用車に追突した。トラックの運転者は、酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された模様。	不明
第323号(H27. 10. 29)	2015年5月～	義務化後	10月29日(木)午前10時50分頃、福岡県の県道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、軽自動車に追突した。この事故により、軽自動車の運転者及び乗員2名の合計3名が軽傷を負った。トラックの運転者は、酒気帯び運転の疑いで警察に拘束されており、運行前点呼は実施されていなかった模様。	無点呼
第326号(H27. 11. 20)	2015年5月～	義務化後	11月15日(日)午後4時45分頃、岡山県の県道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、信号待ちで停止していた乗用車に追突した。この事故による負傷者はなし。トラック運転者の呼気から0.5mgのアルコールが検出されたことから、当該運転者は警察に逮捕された模様。	不明
第327号(H27. 11. 27)	2015年5月～	義務化後	11月25日(水)午後7時45分頃、兵庫県国道バイパスにおいて、広島県に営業所を置くトラックが運行中、出口の分離帯に衝突した。この事故による負傷者はなし。トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたことから、当該運転者は道路交通法違反の疑いで警察に逮捕された模様。	不明
第332号(H28. 1. 8)	2015年5月～	義務化後	平成27年12月28日(月)午後3時40分頃、埼玉県市道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、住宅の囲いに衝突した。この事故による負傷者はなし。運転者の呼気からアルコールが検出され、運転者は飲酒運転の疑いにより警察に逮捕された模様。	不明
第334号(H28. 1. 22)	2015年5月～	義務化後	1月18日(月)午後11時25分頃、栃木県の高速道路において、東京都に営業所を置くトラックが運行中、前を走行する大型トレーラに追突した。この事故による負傷者はなかったが、トラックが積載していたコンクリート柱、約30本が路上に散乱し、高速道路は約5時間20分にわたり通行止めとなった。また、運転者の呼気からアルコールが検出され、酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された模様。	不明
第334号(H28. 1. 22)	2015年5月～	義務化後	1月19日(火)午後10時00分頃、秋田県の自動車専用道路において、青森県に営業所を置くトラックが、路肩で作業中の除雪車の前部右側(ブレード)と接触したことから、トラックの左前輪がバーストし、バランスを崩し道路左側溝にはまり、助手席側を下に横転した。この事故により、運転者が緊急搬送され重傷を負い、その後、運転者の呼気からアルコールが検知された。事業者によると、運転者が食事の際、アルコールを摂取した模様。	不明
第335号(H28. 1. 29)	2015年5月～	義務化後	1月22日(金)午後7時頃、東京都の都道において、都内に営業所を置く個人タクシーが空車で運行中、信号待ちをしていた軽自動車に追突した。この事故により、軽自動車の運転者と同乗者の計2名が軽傷を負った。運転者の呼気からアルコールが検出され、運転者は酒気帯び運転の疑いで警察に一時、身柄を拘束された模様。	不明
第335号(H28. 1. 29)	2015年5月～	義務化後	1月24日(日)午前0時30分頃、新潟県の国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、民家に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後、運転者の呼気からアルコールが検出され、運転者は警察に身柄を拘束された模様。	不明
第336号(H28. 2. 5)	2015年5月～	義務化後	2月1日(月)午後9時頃、茨城県の県道において、宮城県に営業所を置くトラックが運行中、道路脇の看板等に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後、トラック運転者の呼気からアルコールが検出された模様。事業者によると、当該運転者は、午後3時30分頃、食事とともにビールを飲み、約1時間30分仮眠をした後に運転を再開したとのこと。	不明
第342号(H28. 3. 18)	2015年5月～	義務化後	3月14日(月)午後11時00分頃、静岡県の高速道路において、トラックが運行中、前方に無理に割り込んだ自家用貨物車に追突した。この事故による負傷者はなし。当該トラックの運転者は酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された模様。	不明

第344号(H28.4.1)	2015年5月～	義務化後	3月29日(火)午前2時25分頃、栃木県の国道において、福島県に営業所を置くトラック・トレーラが運行中、トラックの前部が道路左側の路外に逸脱した。この事故による負傷者はないが、運転者は酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された模様。運転者は、前日午後9時30分まで荷積み作業を行った後、飲酒した模様。	不明
第345号(H28.4.8)	2015年5月～	義務化後	4月5日(火)午前9時20分頃、奈良県の国道において、福井県に営業所を置くセミトレーラが、交差点を直進した際、対向車線から右折してきた別のセミトレーラと衝突した。この事故による負傷者はなし。当該セミトレーラの運転者は酒気帯び運転の疑いで警察に逮捕された模様。	不明
第348号(H28.4.28)	2015年5月～	義務化後	4月23日(土)午後2時20分頃、富山県の国道において、新潟県に営業所を置くトラックが運行中、交差点で信号待ちをしていた別のトラックに追突した。この事故による負傷者はなし。追突したトラックの運転者の呼気から基準を超えるアルコール(0.15mg/1%以上)が検出されたことから、当該トラック運転者が酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第349号(H28.5.6)	2015年5月～	義務化後	4月28日(木)午前8時15分頃、群馬県の高速道路において、栃木県に営業所を置くトラックが運行中、単独で横転する事故が発生した。この事故による負傷者はなし。警察によると、運転者の呼気から基準を超えるアルコールが検出されたため、運転者は酒気帯び運転の疑いで逮捕された模様。	不明
第350号(H28.5.13)	2016年5月～	義務化後	5月10日(火)午前8時53分頃、東京都の高速道路において、千葉県に営業所を置く貸切バスが乗客23名を乗せ運行中、道路の合流付近においてトラックと衝突した。この事故による負傷者はなし。当該バスの運転者の呼気から基準を超えるアルコールが検出されたことから、当該バス運転者が酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第351号(H28.5.20)	2016年5月～	義務化後	5月17日(火)午前6時00分頃、静岡県国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、交差点で信号待ちをしていた別のトラックに追突した。この事故により、双方のトラック運転者が軽傷を負った。警察によると、追突したトラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため現行犯逮捕された模様。	不明
第358号(H28.7.8)	2016年5月～	義務化後	7月3日(日)午前9時55分頃、東京都において、都内に営業所を置くトラックが運行中、自転車に乗った子供と接触した。この事故により、当該子供が足を骨折する重傷を負った。当該運転者からはアルコールが検知され、現行犯で逮捕された模様。	不明
第358号(H28.7.8)	2016年5月～	義務化後	7月6日(水)午後5時06分頃、愛媛県の交差点において、同県に営業所を置くトラックが右折する際、乗用車と接触した。当該運転者からはアルコールが検知され、現行犯で逮捕された模様。なお、この事故による負傷者はなし。	不明
第361号(H28.7.29)	2016年5月～	義務化後	7月27日(水)午後3時40分頃、石川県の国道において、三重県に営業所を置く大型トラックが運行中、乗用車を追い越そうとした際、その乗用車と衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後の取調べで当該トラック運転者の酒気帯び運転が判明し、現行犯逮捕された模様。	不明
第362号(H28.8.5)	2016年5月～	義務化後	7月31日(日)午後6時00分頃、沖縄県の国道において、同県に営業所を置く法人タクシーが空車で運行中、信号待ちで停車中の乗用車に追突した。この事故による負傷者はなし。事故後の取り調べで、タクシー運転者の呼気からアルコールが検出されたため、酒気帯び運転で逮捕された模様。	不明
第365号(H28.8.26)	2016年5月～	義務化後	8月24日(水)午前11時00分頃、佐賀県の国道において、京都府に営業所を置くトラックが運行中、軽自動車に追突し、その前方の2台も巻き込む多重衝突事故を起こした。この事故より、軽自動車の運転者が重傷を負った。警察によると、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第368号(H28.9.16)	2016年5月～	義務化後	9月10日(土)午前1時50分頃、千葉県の国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、警察車両に追突した。警察車両はその前の軽自動車に追突する多重事故となった。この事故により、警察車両に乗車していた2名が軽傷を負った。トラックはそのまま逃走したが、追突された警察車両が追跡し、1.2キロ先のコンビニ店で運転者が取り押さえられた。また、トラックの運転者は、無免許で酒気帯び運転だった模様。	不明
第371号(H28.10.7)	2016年5月～	義務化後	10月4日(火)午前7時50分頃、青森県の市道において、同県に営業所を置く法人タクシーが空車で運行中、自転車と接触した。この事故により、自転車の運転者が軽傷を負った。警察による飲酒検査で、タクシーの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第371号(H28.10.7)	2016年5月～	義務化後	10月5日(水)午前0時00分ごろ宮城県国道において、栃木県に営業所を置くトラックが運行中、横断歩道を渡っていた自転車をはねた。この事故により、自転車の運転者が重傷を負った。警察による飲酒検査で、トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第371号(H28.10.7)	2016年5月～	義務化後	10月6日(木)午後1時15分頃、神奈川県工場地内において、千葉県に営業所を置くトラックが運行中、フェンスに接触する単独事故を起こした。この事故による負傷者はなし。警察による飲酒検査で、トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第378号(H28.11.25)	2016年5月～	義務化後	11月19日(土)午前10時30分頃、静岡県国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、信号待ちで停車していた軽自動車に追突した。この事故により、軽自動車に乗っていた2名が軽傷を負った。当該トラックの運転者は、事故後の飲酒検査において呼気からアルコールが検出されたため現行犯逮捕された模様。	不明

第378号(H28.11.25)	2016年5月～	義務化後	11月24日(木)午前8時00分頃、富山県の市道において、石川県に営業所を置くトラックが運行中、信号待ちで停車していた軽自動車に追突した。この事故により、軽自動車の運転者が軽傷を負った。当該トラックの運転者は、事故後の飲酒検査において呼気からアルコールが検出されたため現行犯逮捕された模様。	不明
第380号(H28.12.9)	2016年5月～	義務化後	12月3日(土)午後5時20分頃、秋田県の国道において、青森県に営業所を置く大型トラックが運行中、赤信号で停止していた乗用車に気付くのが遅れ追突した。追突された乗用車は、さらに前方のトラックに衝突する多重事故となった。この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後の警察の調べで、当該大型トラックの運転者の呼気からアルコールが検出された模様。	不明
第382号(H28.12.22)	2016年5月～	義務化後	12月19日(月)午後8時30分頃、岐阜県の駅構内タクシー乗り場の待機所において、同県に営業所を置く個人タクシーが客待ちのため停車中、前に停車していた別のタクシーに追突した。はすみで追突されたタクシーが、更に前のタクシーに追突する玉突き事故となった。この事故により、最初に追突されたタクシーの運転者が軽傷を負った。事故後の警察による調べで、当該個人タクシー運転者の呼気からアルコールが検出されたため現行犯逮捕された模様。	不明
第382号(H28.12.22)	2016年5月～	義務化後	12月19日(月)午後10時00分頃、愛媛県の県道において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、対向車線を走行してきた別のトラックと右側ミラー同士が接触した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察による調べで、大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため現行犯逮捕された模様。	不明
第383号(H29.1.6)	2016年5月～	義務化後	12月25日(日)午後3時00分頃、石川県の国道において、京都府に営業所を置くトラックが運行中、中央分離帯に接触しながら走行した後、道路標識に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察による調べで、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため現行犯逮捕された模様。	不明
第383号(H29.1.6)	2016年5月～	義務化後	12月27日(火)午前10時45分頃、北海道の国道において、道内に営業所を置くトラックが運行中、路面凍結によりスリップして路肩の距離ポストに接触した後、路外逸脱した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察による調べで、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出された模様。	不明
第384号(H29.1.13)	2016年5月～	義務化後	1月10日(火)午前9時22分頃、静岡県において、同県に営業所を置く乗合バスが運行を終了した際、営業所に戻った運転者に対しアルコール検知器による検査を行ったところ、アルコール反応(0.285mg/l)があった。当該運転者は、午前7時頃に車庫から出庫しており、その際の電話点呼による検査ではアルコール反応はなかった。その後、当該事業者の運行管理者が出庫時に使用したアルコール検知器を確認したところ、正常に動作する状態になかった模様。なお、当該運転者は帰庫時にアルコール反応が出るまでの間に2回に業務していた。	電話点呼あり
第385号(H29.1.20)	2016年5月～	義務化後	1月16日(月)午後0時40分頃、福岡県において、大阪府に営業所を置く大型トラックが運行中、後退した際に駐車中の無人の乗用車と走行中の別のトラックと衝突した。この事故により、トラックの運転者が軽傷を負った。事故後の警察の調べで、当該大型トラック運転者の呼気からアルコール検出されたため、現行犯逮捕された模様。	不明
第387号(H29.2.3)	2016年5月～	義務化後	1月31日(火)午後3時00分頃、宮城県において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、商業施設駐車場の工事用フェンスに衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べで、大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第389号(H29.2.17)	2016年5月～	義務化後	2月12日(日)午前9時00分頃、北海道の道道交差点において、道内に営業所を置く大型トラックが運行中、信号待ちのため停車していた車両3台に追突した。この事故により、追突された車両に乗っていた3名が軽傷を負った。警察の調べによると、当該大型トラック運転者の呼気からアルコール(0.5mg/L)が検出されたため、酒気帯び運転の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第392号(H29.3.10)	2016年5月～	義務化後	3月6日(月)午前4時00分頃、長野県の市道において、群馬県に営業所を置く大型トラックが運行中、凍結した路面でスリップして左後輪が道路脇に逸脱した。この事故による負傷者はなし。事故後、レッカーで車両を移動する際、当該大型トラック運転者から酒のにおいがしたため、レッカー車の運転者が警察に通報し、警察の調べにより当該大型トラック運転者の酒気帯びが判明した。また、当該大型トラック運転者は、自家用車での酒気帯び運転による事故のため免許取消し処分を受けており、無免許運転であった模様。	不明
第393号(H29.3.17)	2016年5月～	義務化後	3月10日(金)午後6時20分頃、東京都の都道において、都内に営業所を置く法人タクシーが空車で運行中、左折しようとしていた別のタクシーに追突した。この事故により、追突されたタクシーの乗客と運転者の計2名が軽傷を負った。当該タクシー運転者は、その場から立ち去ったが、その後逮捕され、警察の調べにより酒気帯びが発覚した模様。	不明
第397号(H29.4.14)	2016年5月～	義務化後	4月9日(日)午前4時53分頃、千葉県の市道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、道路脇に停車中の乗用車に接触した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第397号(H29.4.14)	2016年5月～	義務化後	4月11日(火)午後11時00分頃、愛知県のコンビニ駐車場において、三重県に営業所を置くトラックが乗用車に接触する事故を起こした。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第399号(H29.4.27)	2016年5月～	義務化後	4月22日(土)午後0時50分頃、滋賀県の国道において、大阪府に営業所を置くトラックが運行中、運転者が脇見運転をしたため前方で右折待ちで停車していた軽自動車に追突した。この事故により、軽自動車の運転者が軽傷を負った。警察によると、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第399号(H29.4.27)	2016年5月～	義務化後	4月26日(水)午後4時05分頃、山形県の市道において、福島県に営業所を置く大型ダンプが運行中、住宅地で後退した際、道路脇のブロック塀に衝突し、そのまま立ち去った。この事故による負傷者はなし。警察によると、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。その後、運転者は駆けつけた警察官により、飲酒運転の疑いで逮捕された。運転者は停めた車内で飲酒したと話している模様。	不明

第400号(H29.5.12)	2016年5月～	義務化後	4月30日(日)午前0時40分頃、福島県の高速道路において、宮城県に営業所を置くトラックが運行中、前方を走行中の別のトラックに追突した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べで、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第400号(H29.5.12)	2017年5月～	義務化後	5月2日(火)午前3時35分頃、石川県の市道において、同県に営業所を置く個人タクシーが空車で運行中、対向車線側の側道に逸脱し街路樹に接触した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べで、当該タクシー運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第400号(H29.5.12)	2017年5月～	義務化後	5月2日(火)午後9時00分頃、山梨県の国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、走行車線から追越車線に車線変更をした際、追越車線を走行していた車両と接触した。この事故による負傷者はなし。当該トラック運転者は、接触したことに気付かず走行を続け、その後警察により停止させられた際、運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。当該トラック運転者は、コンビニでアルコール飲料を購入し飲酒した模様。	不明
第409号(H29.7.14)	2017年5月～	義務化後	7月8日(土)午後2時46分頃、福島県の国道において、同県に営業所を置く大型トラックが、前方の車両4台に追突する事故が発生した。この事故により、1名が重傷、5名が軽傷を負った。事故後の警察の調べで、運転者の呼気からアルコールが検出された模様。	不明
第410号(H29.7.21)	2017年5月～	義務化後	7月16日(日)午後3時30分頃、長野県の国道において、愛知県に営業所を置く大型トラックが運行中、センターラインを越えて対向車線に侵入したため、対向してきた乗用車と衝突した。この事故により、乗用車の運転者と同乗者の計2名が重傷を負った。事故後の警察による調べにより、当該大型トラック運転者の呼気から基準を超えるアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第414号(H29.8.18)	2017年5月～	義務化後	8月16日(水)午前6時30分頃、群馬県の市道において、茨城県に営業所を置くトラック・トレーラーが住宅の壁に衝突した。この事故による、負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該運転者の呼気からアルコールが検知されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第416号(H29.9.1)	2017年5月～	義務化後	8月30日(水)午後8時00分頃、鹿児島県の高速道路において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、中央分離帯に衝突し横転、その後エンジン部分から出火した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された模様。	不明
第421号(H29.10.6)	2017年5月～	義務化後	10月2日(月)午後2時35分頃、東京都のスポーツ施設駐車場において、都内に営業所を置く個人タクシーが運行中、追突事故を起こした。この事故による負傷者はなし。事故後の警察による調べにより、当該タクシー運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第421号(H29.10.6)	2017年5月～	義務化後	10月4日(水)午後6時30分頃、福井県の高速道路において、新潟県に営業所を置く大型トラックが運行中、トンネル壁面に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後、大型トラックはそのまま運行を継続したが、通報を受けた警察により発見され、その後の調べにより当該大型トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第428号(H29.11.24)	2017年5月～	義務化後	11月22日(水)午前0時41分頃、大阪府の自動車専用道において、愛媛県に営業所を置く大型トレーラーが運行中、走行車線から追い越し車線に変更した際に、真横を走行していたタクシーを、トレーラーと中央分離帯に挟む形で衝突した。この事故により、タクシーの乗客1名が死亡、乗客1名とタクシーの運転者1名が重傷を負った。事故後の警察による調べにより、当該トレーラー運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕された模様。	不明
第432号(H29.12.22)	2017年5月～	義務化後	12月17日(日)午後2時35分頃、岩手県の高速道路において、宮城県に営業所を置くトラックが運行中、ジャンクションの分岐点で進路の間違いに気づき進路を戻した際、分離帯に衝突した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第432号(H29.12.22)	2017年5月～	義務化後	12月21日(木)午後4時30分頃、愛媛県の国道において、同県に営業所を置くトラック・トレーラーが運行中、センターラインを越えて対向車線に進入したため、対向してきた乗用車と衝突した。この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後の警察による調べにより、当該トラック・トレーラー運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第437号(H30.1.26)	2017年5月～	義務化後	1月22日(月)午後8時15分頃、新潟県の国道において、群馬県に営業所を置くトラックが運行中、左側ガードレールに衝突し横転した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明
第438号(H30.2.2)	2017年5月～	義務化後	1月30日(火)午後8時06分頃、山口県の国道において、広島県に営業所を置く大型トラックが運行中、前方を走行していた乗用車を追い抜き、元の車線に戻る際に乗用車と接触した。この事故による負傷者はなし。当該トラックはそのまま走行したが、乗用車からの通報で捜査していた警察により発見され、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第440号(H30.2.16)	2017年5月～	義務化後	2月12日(月)午前5時00分頃、岐阜県の国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、前方を走行している大型トレーラーを追い抜こうと追い越し車線へ車線変更したところ、赤信号で停止していた乗用車を確認したため、衝突を避けようとしたが、走行車線を進行してきた大型トレーラーと接触し、前方の乗用車との間に挟まれた。この事故により、乗用車の運転者が軽傷を負った。事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。事故当日は、長距離運行の帰路であり、点呼未実施だった模様。	未実施
第440号(H30.2.16)	2017年5月～	義務化後	2月14日(水)午前12時00分頃、福岡県のコンビニの駐車場において、同県に営業所を置くトラックが運行中、停車中の車とフェンスに接触した。この事故により、負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。	不明

第444号(H30.3.16)	2017年5月～	義務化後	3月12日(月)午前7時26分頃、千葉県の県道交差点において、栃木県に営業所を置く大型トラックが運行中、対向車線から右折矢印信号に従い進行してきた回送運行中の乗合バスと衝突し、更に信号待ちで停止していた軽自動車に衝突後、電柱に衝突し停止した。この事故により、当該大型トラックの運転者が軽傷を負った。事故後、当該大型トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明
第446号(H30.3.30)	2017年5月～	義務化後	3月29日(木)午後0時55分頃、愛知県の商業施設において、兵庫県に営業所を置くトラックが運行中、駐車する際に駐車場のポールに接触した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の現行犯で逮捕された模様。	不明